平成23年度第2回 八王子市市史編集委員会

日 時：平成24年3月1日（木）

午後6時30分から8時まで

会 場：生涯学習センター第5学習室

【報告事項】

1. 市史刊行計画の一部変更について

資料1 市史刊行計画の一部変更について

2. 平成23年度刊行事業の進捗状況について

資料2 平成23年度刊行事業の進捗状況について

3. 『新八王子市史』体裁及び執筆謝礼等支払基準について

資料3-1 『新八王子市史』体裁等について

資料3-2 『新八王子市史』原稿執筆謝礼等支払基準

4. 専門部会の活動状況について

資料4 市史編集専門部会調査活動報告

5. その他

資料5 平成23年度市史編さん事業実施状況

【協議事項】

6. 平成24年度部会活動及び編集日程について

資料6-1 平成24年度市史編さん費予算の概要（抜粋）

資料6-1 平成24年度市史編さん事業スケジュール（案）

7. 『八王子市史研究』第3号について

資料7 『八王子市史研究』第3号の概要について

8. 「市政モニター」及び「げんきフォーラム」について

資料8 平成24年度「市政モニター」及び「げんきフォーラム」について

9. その他

市史刊行計画の一部変更について

1. 内容

「八王子市史編さんの基本的な考え方 - 市史編さん基本構想 - 」に定める、市史刊行計画を一部変更したので報告します。

2. 経緯

平成 21 年 12 月 1 日 市史編さん基本構想を決定

平成 23 年 6 月 22 日 市史編さん審議会答申

「各専門部会での作業実態を踏まえて着実に作業を進めることができるよう平成 28 年度までの各編の刊行年度の一部を修正することが妥当」

8 月 17 日 同審議会へ「市史刊行計画の一部変更について」を諮問

11 月 29 日 同審議会答申

「できる限り速やかに、変更案のとおり決定すべき」

12 月 26 日 市史刊行計画の一部変更を決定

3. 変更の内容

市史刊行計画を裏面「『新八王子市史』刊行計画（変更後）」のとおり変更する。

4. 市民への周知

広報はちおうじ 3 月 15 日号、市ホームページ、市史編さん室だより「稲荷山通信」等で市民に周知する。

平成23年度刊行事業の進捗状況について

	八王子市史叢書1 『村明細帳集成』	『新八王子市史』 資料編5「近現代1」	『新八王子市史』 資料編1「原始・古代」	『新八王子市史民俗調査報告書』 第1集「八王子市西部 恩方の民俗」	『八王子市史研究』第2号
刊行物概要	判型 A5判 頁数 464p 発行部数 1,200部 価格 1,000円	判型 A5判 頁数 約900p 発行部数 1,500部 価格 3,000円(予定)	判型 A4判 頁数 約800p 発行部数 1,500部 価格 5,000円(予定)	判型 A4判 頁数 約300p 発行部数 2,000部 価格 1,000円(予定)	判型 A5判 頁数 約190p 発行部数 2,000部 価格 500円(予定)
進捗状況	発行日 1月10日 販売 3月から販売 販売場所 市役所本庁舎 郷土資料館 市史編さん室	印刷会社へ入稿済み 現在、再校校正中 2月市議会へ23年度予算の 繰り越し議案を提案中	印刷会社への入稿原稿調製中 2月市議会へ23年度予算の 繰り越し議案を提案中	印刷会社へ入稿済み 現在、再校校正中	印刷会社へ入稿済み 現在、三校校正中
今後の予定		4月中旬～下旬納品 5月から販売開始	3月下旬入稿 6～7月ころ納品	3月末頃納品 4月下旬から販売開始	3月末頃納品 4月下旬から販売開始

2. 各刊行物の体裁について

種別	体裁等
1. 市史叢書	<p>1. 造本 表紙: レザック66(象牙) 見返し: 色上質紙厚口(クリーム) 扉: クリーム金マリ(本文用紙)</p> <p>2. 印刷内容 表紙: スミ1色、活字のみ 背表紙: スミ1色、活字のみ 扉: スミ1色、活字のみ</p>
2. 民俗調査報告書	<p>1. 造本 表紙: ダルアート紙(白) 見返し: 色上質紙厚口() 表紙印刷色に合わせる。 扉: クリーム金マリ(本文用紙)</p> <p>2. 印刷内容 表紙: 4色刷、写真・イラスト・活字で構成 背表紙: 4色刷、活字のみ 裏表紙: 4色刷、写真・イラストで構成 扉: スミ1色、活字のみ</p>
3. 資料編	<p>1. 造本 表紙: 加工クロス(バクラム331 1/2) 見返し: ピーチケント紙(白) 遊び紙: 雲龍紙厚口(白) 扉: FB堅紙(白) スピン: 1本(茶)</p> <p>2. 印刷内容 表紙: 印刷なし 背表紙: タイトル金箔押し 裏表紙: 市章空押し 扉: 活字のみ</p> <p>3. カバー 紙質: 特両アート紙PP加工 内容: 4色刷、写真・活字で構成</p> <p>4. 外函 化粧紙: レザック80ツムギ(古染) 函背: スミ1色刷り、タイトル活字 函底: スミ1色刷り、タイトル活字</p>

『新八王子市史』原稿執筆等謝礼支払基準

1. 原稿執筆謝礼

支払基準

区分	謝礼の額
出稿原稿	1文字につき 6円

対象

市史刊行物の原稿執筆（市からの執筆依頼に基づくもの）
執筆に付随する原稿整理作業、原稿確認、校正等を含む。

支払時期

印刷会社への出稿後、一括して指定口座に振り込む。

2. 原稿校訂謝礼

支払基準

区分	謝礼の額
校訂用ゲラ（900字詰）	1枚につき 900円

対象

市史刊行物に係る出稿原稿の校訂（原典校正）（市からの依頼に基づくもの）

支払時期

全編の校訂終了後、一括して指定口座に振り込む。

3. 図版作成謝礼

支払基準

区分	謝礼の額
図版作成（A3以下）	1枚につき 5,000円

対象

市史刊行物に掲載する図版等の作成（市史刊行物に掲載した図版を対象とする。）

支払時期

印刷会社への出稿後、一括して指定口座に振り込む。

参考 活動謝礼として支払うもの

対象 専門部会会議への出席

集中調査、合同調査等への出席

個別の資料収集・調査、閲覧調査、写真撮影など

編さん資料として活用する資料の作成、データの整理等（原稿執筆のための資料整理等を除く。）

- ・ については、調査計画に基づき、事前に事務局に申し出て行った調査を対象とする。

支払時期

活動報告書が提出された活動について、活動月の翌月末までに指定口座へ振り込む。

市史編集専門部会調査活動報告

(平成23年8月～24年2月分)

部 会 名	平成 23 年度 第 5 回 原始・古代 部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 10 月 18 日（火） 午前・ 午後 6 時 30 分～ 午前・ 午後 8 時 15 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 関 和彦 部会委員 池上悟 及川良彦 竹花美保 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 横田深雪 紺野英二 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 馬場有美	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
1. 報告事項		
(1) 資料編編集状況・編集チーム作業状況について		
編集状況の報告【資料 1】。編集チームによる割り付け作業は 2 遺跡を除いて終了した。変更内容は以下のとおり。		
123 多摩 NTNo.774・775 遺跡 多摩市の遺跡のため削除		
132 多摩 NTNo.106 遺跡 他の遺跡の中で紹介		
133 多摩 NTNo.105 遺跡 削除		
170 百草・和田 1・2 号窯 2 号削除		
資料 用語解説 削除（別編へ）		
資料 八王子市遺跡一覧を追加		
(2) 資料編の原稿確認について		
原稿確認方法と印刷までの流れを説明【資料 2】。		
B：原稿修正作業には服部専門調査員の他、深澤委員にも加わっていただく。		
全体統一：書き方に大きな違いはないか、掲載写真に重複がないかなど確認。		
キャプションについて		
今回の資料編は写真のみを見る市民も多いと思われるので、写真を見ただけでも内容のわかるようなキャプションを作成する。現在の割り付けにはキャプションが入っていない。執筆者確認の際に執筆者にキャプションを入れていただく。11 月中旬に一部確認作業を開始。質問、問題点などを共有するために 11 月下旬に会議を開催し、全員で統一を図る。		
巻頭・時代概要		
時代概要の原稿は 11 月 30 日締め切り。時代ごとに重要遺跡の分布図を作成し掲載する。色分け、記号分けも利用しながら作成する。横田専門調査員への作成指示が必要なため、部会委員には		

指示の資料を作成いただく。

キャプション、図面指示用の資料は事務局より送付する。

(3) 印刷契約について

印刷会社は精工舎に決定。1500 部発行。

2 . 協議事項

(1) 資料編の内容について

コラムの内容と執筆者について検討【資料 3】。事務局案をもとに、以下の内容を決定。

遺跡調査の手続きと方法 もう少し検討が必要

石器の種類と呼称（担当：鈴木委員）

土器の編年（担当：黒尾委員）

遺跡とは何か 遺跡の立地と土地利用 （担当：及川委員）

1 ページ（1600 字）の想定で図版、写真も使用して作成。締め切りは 12 月上旬。

3 . その他

(1) 本編について

本編の刊行は平成 25 年度から平成 26 年度に変更。来年度は本編に向けての調査に入る。時代ごとの年代検討会の開催と遠隔地への調査を予定している。今年度 2 月ごろには本編の内容についても検討したい。

【配布資料】

資料 1 原始・古代資料編編集作業進捗状況確認表

資料 2 資料編の原稿確認について

資料 3 資料編の内容について

部 会 名	平成 23 年度 第 6 回 原始・古代 部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 11 月 29 日（火） 午前・ 午後 6 時 15 分～ 午前・ 午後 9 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 関 和彦 部会委員 池上悟 及川良彦 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 横田深雪 紺野英二 黒田智章 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 馬場有美	
<p>概要</p> <p>1. 遺跡紹介頁</p> <p>(1) 資料編編集状況について</p> <p>現在、インデザインでの編集作業と服部専門調査員の全体統一作業を急いで進めている【資料 1】。図面も修正が済んだものを流し込み、統一作業、執筆者確認に入れるように、また事務局では統一用語をピックアップし修正できるよう準備している【資料 5】。</p> <p>(2) キャプション作成作業について【資料 2・事前送付資料】</p> <p>基本コンセプト：写真を見ただけでも内容のわかるようなキャプションを作成する。</p> <p>表現： 番号+タイトル+説明（番号は写真・図版通しでつける）</p> <p>内容：見本から検討。考古学の知識がなくてもわかるように 1 行程度で書く。である調で統一。</p> <p>参考：編集チームの手書き割り付けに写真名の入っているものがあるので、作成の参考にする。</p> <p>(3) 今後の作業【資料 3、4】</p> <p>遺跡紹介頁の執筆者確認を行う。インデザイン割り付け（カラー）と編集チームの作成した手書きの割り付けをセットで事務局より送付する。</p> <p>確認内容（赤字で記入）</p> <p>写真・図版の間違いがないか確認する。</p> <p>図面修正内容を書き込む。（大きさ、向き、線種、色分けに間違いがないか確認）</p> <p>色の統一、スケール、文字の向きの修正は最後に行う。</p> <p>写真・図版のキャプションを書き込む。（2）を参照。</p> <p>原稿に間違いがないか確認をする。</p> <p>確認の注意 編集チームの原則を守る</p> <p>写真・図版の並べ方： 全景写真 or 遺構全体図 遺構 遺物</p> <p>一度ではなく 2、3 回に分けて送付する。事務局から資料が届いて、2 週間後までに作業をして</p>		

返送する。

2. 巻頭巻末【資料7、8】

(1) 巻頭

時代区分と流域設定・各時代の遺跡概要

事務局より、64頁を40頁程度へ削減を提案。「時代区分と流域設定」の原稿はなるべくそのまま、各時代の部分を短くする。既に提出いただいている深澤委員の原稿を執筆者に送付。これを参考に、各時代の遺跡概要を執筆いただく。使用する地図についても検討。 3(2)

遺跡概要原稿締め切り 12月13日(火)

各時代遺跡分布図の確認

A5の地図に載せるため、選別、必要に応じて記号分け(集落、墓、窯など)を行う。

(2) 巻末

「古代文字資料について」は「八王子市出土文字資料一覧」へ

「八王子の考古学史」は資料編には掲載しない。 本編へ

「古環境復元補助資料」は資料編には掲載しない。 本編へ

保存公開遺跡の案内は事務局が執筆する。

3. 資料編掲載地図について【資料9】

(1) 時代区分と流域設定

内容：八王子市主要遺跡分布図(遺跡の範囲、地形の色分けあり)

掲載の大きさ：見開き 余白少なめ

(2) 八王子市内の遺跡概要 ~ 各時代

内容：各時代の主要な遺跡をピックアップしたもの(ドットで掲載)

掲載の大きさ：A5

(3) 遺跡紹介頁

内容：紹介遺跡の所在を示した遺跡位置図

下図：5万分の1

見本Cに決定 なるべく中央に位置を配置(駅など目印が入れば入れる)

範囲は太目の線で書き網掛(広い遺跡は検討する)

遺跡名は地図上に入れない

(4) 八王子市遺跡分布図(付図)

内容：1030遺跡全てを掲載する。多摩ニュータウン遺跡は裏面を利用し、大きく見やすくする。

下図：25000分の1

掲載の大きさ：A全版

4．その他

遺跡紹介頁の執筆者名は文末に漢字で表記する。

遺跡紹介の項目を統一する。

位置と広がり

調査の契機と経過

調査の内容

成果と評価

例外あり。

資料編のデザインと図面の色指定はどのように行うのか。

次回部会会議は1月に行う。改めて日程調整をする。

【配布資料】

資料1 原始・古代資料編編集作業進捗状況確認表

資料2 キャプション作成作業について

資料3 今後の作業

資料4 編集チーム割り付け

資料5 『新八王子市史』資料編 原始・古代 原稿事務局集成基準案（11/29 現在）

資料6 資料編刊行までのスケジュール

資料7 『新八王子市史 資料編 原始・古代』巻頭・巻末部分に関する調整事項

資料8 巻頭・巻末部分掲載内容 修正案

資料9 資料編の遺跡地図について

【事前送付資料】

キャプション見本

一丁平遺跡

水崎遺跡 創価大学太陽の丘遺跡（古墳時代、奈良・平安時代） 大町遺跡

部 会 名	平成 23 年度中世部会 第 2 回資料調査	開催（実施）日時 平成 23 年 8 月 3 日（水） 午前・午後 10 時 ~ 午前・午後 3 時 まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 加藤 哲 徳永裕之 【事務局】柳沢 誠	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>北条氏照関係文書を含む江の島岩本楼文書の調査を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．岩本楼文書の採寸、筆跡・料紙および文字の原本確認 2．中世の八王子市域に関する文書のデジタルカメラによる撮影 		

部 会 名	平成 23 年度中世部会 第 2 回部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 8 月 7 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 専門調査員 遠藤ゆり子 原 美鈴 朝比奈新 調査員 鈴木啓太 渡邊浩貴 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 渡部恵一 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 1．報告事項 （1）資料収集・調査の進行状況について （2）夏季集中調査の事前調査および下見について 2．検討事項 （1）平成 23 年度夏季集中調査の体制と計画について （2）資料編中世の体裁について 3．確認事項 （1）平成 23 年度の調査計画について （2）次回以降の部会活動（調査・会議）の予定について 【配布資料一覧】 1．資料収集の進捗状況について 2．元八王子地区の概況について 3．平成 23 年夏季集中調査の行程・計画（案） 4．資料編のタイトル・所蔵者情報等の体裁（案） 5．平成 23 年度資料調査先候補一覧		

部 会 名	平成 23 年度中世部会 夏季集中調査	開催（実施）日時 平成 23 年 8 月 19 日(金) から 平成 23 年 8 月 21 日(日) まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 専門調査員 遠藤ゆり子 原 美鈴 朝比奈新 調査員 鈴木啓太 渡邊浩貴 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 渡部恵一 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 元八王子町 1 丁目、2 丁目、3 丁目および横川町を対象として、戦国時代の八王子城下に関する伝承や地名、あるいはそれを遡る時代の事柄について、聞き取りや現地踏査を中心に調査を実施した。		

部 会 名	平成 23 年度中世部会 第 3 回部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 10 月 6 日（日） 午前・ 午後 1 時 30 分から 午前・ 午後 5 時 まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 専門調査員 原 美鈴 調査員 鈴木啓太 【事務局】木内基容子 新井雅人 柳沢 誠	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．報告事項 資料収集・調査の進行状況について</p> <p>2．検討事項 平成 23 年度夏季集中調査成果の検討</p> <p>3．確認事項 次回以降の部会活動（調査・会議）の予定について</p> <p>【配布資料一覧】</p> <p>1．資料収集の進捗状況について</p> <p>2．平成 23 年度夏季集中調査報告書（部会会議用）</p> <p>3．平成 23 年度下半期の予定について</p>		

部 会 名	平成 23 年度中世部会 第 3 回資料調査	開催（実施）日時 平成 23 年 10 月 23 日（日） 午前・午後 10 時 30 分から 午前・午後 2 時 まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之	【事務局】柳沢 誠
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>大石氏関係文書を含む静岡県三嶋大社所蔵文書の調査を実施した。</p> <p>1．文書の採寸、筆跡・料紙および文字の原本確認</p> <p>2．中世の八王子市域に関する文書のデジタルカメラによる撮影</p>		

部 会 名	平成 23 年度中世部会 第 4 回資料調査	開催（実施）日時 平成 23 年 12 月 9 日（金） から 12 月 10 日（土）まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 加藤 哲 徳永裕之	【事務局】柳沢 誠
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．京都府南禅寺が所蔵する八王子市広園寺関係資料の調査（9日）</p> <p>（1）「武州八王子兜率山広園寺地図」ほか5点の採寸、筆跡・料紙および文字の原本確認</p> <p>（2）関係文書のデジタルカメラによる撮影</p> <p>2．福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館および一乗谷朝倉氏遺跡の視察・実踏調査</p> <p>（10日、徳永委員 柳沢専門員）</p> <p>市内の戦国期城郭および城下の理解を深めるため上記資料館を視察し、遺跡の実踏調査を行なった。</p>		

部 会 名	平成 23 年度中世部会 第 5 回資料調査	開催（実施）日時 平成 23 年 12 月 16 日（金） から 18 日（日）まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 【事務局】木内基容子 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．京都府東福寺 東福寺が所蔵する武蔵国船木田荘関係資料の調査・写真撮影（16 日）</p> <p>2．滋賀県近江八幡市安土城跡 安土城跡の実踏調査（17 日）</p> <p>3．滋賀県立安土城考古博物館が所蔵する一色古文書集（北条氏照関係文書）の調査 （18 日）</p>		

部 会 名	平成 23 年度中世部会 第 4 回部会会議	開催（実施）日時 平成 24 年 1 月 28 日（土） 午前・ 午後 1 時 30 分から 午前・ 午後 5 時 まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 徳永裕之 専門調査員 本間岳人 【事務局】木内基容子 渡部恵一 柳沢 誠	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．報告事項 資料収集・調査の進行状況について（平成 23 年 10 月 17 日以降）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア．資料調査 イ．実踏・視察調査 ウ．中世考古関係 エ．市民講座「中世の八王子を語る 横山党から北条氏照まで」開催（11 月から 12 月） 事務局より報告 成果と課題（徳永委員） <p>2．検討事項</p> <p>（1）資料編中世の編集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア．活字データの作成状況 イ．資料掲載の体裁の確認 ウ．考古分野のデータ・遺跡紹介等の掲載方法について（本間専門調査員） エ．刊行までの作業スケジュールの確認 オ．資料選択・解説執筆の担当について <p>（2）次回以降の部会活動の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア．調査・会議 イ．編集作業関係 <p>（3）今後の資料収集・調査（夏季調査を含む）の方針と対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア．資料調査 イ．実踏調査等 		

【配布資料一覧】

- 1．平成 23 年 10 月 17 日から平成 24 年 1 月までの調査資料
- 2．中世部会 市民講座の成果と課題
- 3．活字データの作成状況
- 4．資料掲載の体裁の確認
- 5．中世石塔調査の進行状況、資料掲載の方法について
- 6．八王子市市史編集専門部会中世部会 平成 23 年度～27 年度計画案
- 7．資料選択・解説執筆の担当について（案）

部 会 名	平成 23 年度近世部会 第 4 回会議	開催（実施）日時 平成 23 年 9 月 23 日（金） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	藤田 覚	専門員氏名 大木悠佑
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 藤田覚 部会委員 神立孝一 岩橋清美 白石烈 山崎圭 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 大木悠佑	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1. 報告・確認事項（事務局よりの進捗状況について）</p> <p>(1) 『村明細帳集成』進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例、解説の確認、検討 ・作業スケジュールの確認 <p>10 月下旬業者入稿、11 月～12 月にかけてゲラ校正、素読み校正、1 月初旬に刊行（予定） 事務局作業の確認（扉、奥付、掲載許可）</p> <p>(2) 資料編作業について</p> <p>所在調査・資料整理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借用整理中 7 軒（由木地区 2 軒 恩方地区 3 軒 川口地区 1 軒 加住地区 1 軒） ・借用資料整理完了 11 軒（由木 6 軒 横山地区 1 軒 川口地区 1 軒 加住地区 3 軒） ・資料所在調査実施 5 件 ・資料収集 3 件（内 1 件は作業中） <p>筆耕資料・筆耕資料候補抽出作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆耕済資料点数 約 546 点 3800 枚 <p>資料調査先候補について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 件候補 所在確認後、調査を行うか検討する。 <p>2. 検討事項</p> <p>(1) 資料編の項目について（章立てに当てはまらない項目など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の資料編章立てにあてはまらない項目の扱いについて <p>どこかの章節に入れておく。その後判断を行う。</p> <p>3. 資料編作業の進捗状況について（部会委員等より報告）</p> <p>(1) 筆耕資料候補の抽出作業</p>		

(2) 担当章の進捗状況について

5. その他連絡事項

次回部会会議日程（11月3日）

【配布資料一覧】

資料 1	進捗状況報告
資料 2	『村明細帳集成』作業スケジュール
資料 3	筆耕済資料一覧
資料 4	未筆耕資料一覧
資料 5	資料編掲載候補資料抽出作業
資料 6	資料編項目当てはめ作業表
その他	部会委員作業進捗状況レジュメ

部 会 名	平成 23 年度近世部会 第 5 回会議	開催（実施）日時 平成 23 年 11 月 5 日（土） 午前・ 午後 3 時 30 分～ 午前・ 午後 7 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	藤田 覚	専門員氏名 大木悠佑
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 藤田覚 部会委員 神立孝一 岩橋清美 山崎圭 専門調査員 長田直子 鈴木直樹 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 渡部恵一 大木悠佑	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1. 『村明細帳集成』作業について</p> <p>(1) 『村明細帳集成』進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例、解説の確認、検討 ・作業スケジュールの確認 <p>10 月下旬業者入稿、11 月～12 月にかけてゲラ校正、素読み校正、1 月初旬に刊行（予定）</p> <p>事務局作業の確認（扉、奥付、掲載許可）</p> <p>2. 資料編 3 章作業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 章の作業分担の確認と章節構成案の提示 ・担当者より進捗状況の報告 <p>3. 資料編 2 章作業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者より進捗状況の報告 <p>4. 事務局作業進捗状況報告</p> <p>(1) 資料調査状況報告</p> <p>所在調査・資料整理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借用整理中 2 軒（恩方地区 1 軒 その他 1 件） ・借用資料整理完了 13 軒（恩方地区 1 件 由木地区 7 軒 横山地区 1 軒 川口地区 1 軒 加住地区 3 軒） ・資料所在調査実施 3 件 筆耕資料・筆耕資料候補抽出作業 ・前回部会会議後の筆耕 50 点 308 枚 ・筆耕済資料点数 596 点 4008 枚 <p>5. その他連絡事項</p> <p>次回部会会議日程（12 月 23 日）</p>		

【配布資料一覧】

資料 1	『村明細帳集成』作業項目一覧
資料 2	『村明細帳集成』作業スケジュール
資料 3	資料編 3 章 章節構成案
資料 4	事務局作業進捗状況
資料 5	筆耕資料一覧
その他	部会委員作業進捗状況レジュメ

部 会 名	平成 23 年度近世部会 第 6 回部会	開催（実施）日時 平成 23 年 12 月 23 日（金） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	藤田 覚	専門員氏名 大木悠佑
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 藤田 覚 部会委員 神立孝一 岩橋清美 山崎圭 専門調査員 長田直子 鈴木直樹 【事務局】木内室長、新井主幹、長谷部主査、渡部主任、大木専門員	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 1. 事務局作業進捗状況報告 (1) 『村明細帳集成』状況報告 【確認事項】・資料所蔵者表記について ・『村明細帳集成』での所蔵者表記 ...市内在住の個人 「所蔵者の現住所（町名）」 + 「所蔵者の姓」 + 文書 ...所蔵者が機関 「資料群名」 + 「・所蔵機関名」 + 所蔵 ・資料編での表記の問題 ...個人所蔵の表記 三案の検討。部会内での意見をまとめる。 事務局での検討課題 事務局内で他部会との調整も含めて検討する (2) 所在調査・資料調査 ・借用資料 3 件（加住地区 1 件 由井地区 1 件 小宮地区 1 件） (3) 編さん室借用資料の整理状況 ・資料整理中 3 件（恩方地区 1 件 横山地区 1 件） ・紙目録のデータ化作業 済 1 件 整理中 4 件 (4) 資料のマイクロフィルム化 ・マイクロフィルム撮影依頼 18 件(恩方地区 5 件 加住地区 2 軒 川口地区 2 軒 元 八王子地区 1 件 由井地区 1 件 由木地区 2 軒 横山地区 1 件 浅川地区 2 軒 旧市 内地区 1 件) (5) 資料の筆耕状況 ・前回部会会議後の筆耕 19 点 211 枚 ・筆耕済資料点数 615 点 4242 枚 (6) 郷土資料館マイクロフィルムの紙焼き整理状況		

・郷土資料館所蔵マイクロフィルム 24 家分 390 リールの紙焼き作成依頼

2 . 部会委員等進捗状況報告

(1) 担当者より資料編作業状況の報告

3 . その他連絡事項

(1) 次回部会会議の日程 (平成 24 年 2 月 19 日 (日))

【配布資料一覧】

1 . 事務局進捗状況報告

2 -1 . 表 : 『村明細帳集成』作業状況

2 -2 . 近世資料編における所蔵者表記方法について

3 . 表 : 平成 23 年度借用資料並びにマイクロフィルム化対象資料一覧

4 . 20111223 時点での市史編さん室利用可能資料

5 -1 . 表 : 前回部会会議以後筆耕資料一覧

5 -2 . 表 : 未筆耕資料一覧

6 . 表 : 郷土資料館マイクロフィルムから紙焼き打出し依頼リスト一覧

その他 部会委員作業進捗状況レジュメ

部 会 名	近現代部会 平成 23 年度第 3 回部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 8 月 16 日（火） 午後 6 時 30 分～ 午後 8 時 20 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	新井 勝紘	専門員氏名 宮崎 翔一
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 新井勝紘 部会委員 梅田定宏 前田成東 源川真希 【事務局】 木内基容子 新井雅人 渡部恵一 宮崎翔一	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1. 報告事項</p> <p>（1）資料編 1 刊行スケジュールの確認</p> <p>【参考 1 新八王子市史 資料編 5 近現代 1 目次】</p> <p>【資料 2 近現代部会 資料編 1 編集活動予定表（6 月～9 月）】</p> <p>【資料 3 『新八王子市史』資料編 5 近現代 1 の原典校正（初校）・資料解説執筆のお願い】</p> <p>初校（原典構成）：平成 23 年 8 月 8 日～8 月 28 日迄</p> <p>・担当者（敬称略）</p> <p>第 1 章 杉山 弘</p> <p>第 2 章 梅田定宏（ ） 源川真希（ ）</p> <p>第 3 章 梅田定宏（ ） 源川真希（ ）</p> <p>第 4 章 梅田定宏（ ） 源川真希（ ）</p> <p>第 5 章 齋藤 勉</p> <p>第 6 章 齋藤 勉</p> <p>第 7 章 前田成東</p> <p>・凡例【資料 4 近現代 資料編 1 凡例】</p> <p>資料解説の執筆：平成 23 年 8 月 8 日～9 月 28 日迄</p> <p>【資料 5 『新八王子市史』資料編 5 近現代 1 解説執筆にあたって】</p> <p>（2）近現代部会調査状況について</p> <p>資料収集と資料整理の状況</p> <p>・現在借りている資料</p> <p>橋本鋼二氏所蔵橋本義夫関係資料</p> <p>図書・謄写刷は整理完了、スクラップブックは一部を借用し、写真撮影中。</p> <p>上川町・久保茂夫家文書（目録作成中）</p> <p>小津町・原金二家文書（目録作成中）</p>		

絹ヶ丘・原稠夫家文書（目録作成中）

小津町・原武家文書（目録作成中）

上恩方町・菱山家文書（平成 23 年 8 月 10 日に第 2 回調査を行い、借用中）

・ **今後借りられると思われる資料**

八王子織物工業組合文書 調整中

・ 公的機関の調査

東京都公文書館所蔵資料（織物関係・郡役所文書など）

10 月で移転のため、作業を優先。【資料 6 東京都公文書館所蔵資料の調査について】
神奈川県立公文書館所蔵資料（基本的には明治 26 年の東京府移管前の資料が中心）

資料編 2 の編集方針

資料編 1 は、市が所蔵する公的な資料である旧村役場文書を中心に扱った。資料編 2 は、明治初期から現代までの時期を対象に、資料編 1 に入れられなかった家別文書など、八王子を象徴する特徴的な項目の資料を編集するのがよいと考える（必然的に近現代を通した資料集となる）。

（ 3 ）時代別チーム研究会の途中経過報告

明治前期チーム（第 1 回：平成 23 年 6 月 27 日）

・ 新井勝紘部会長より報告

明治中期から昭和初期（農村部）チーム（第 1 回：平成 23 年 7 月 11 日）

現代チーム（第 2 回：平成 23 年 7 月 22 日）

・ 前田成東部会委員より報告

明治中期から昭和初期（都市部）チーム（第 2 回：平成 23 年 7 月 23 日）

・ 梅田定宏部会委員より報告

2 . 検討事項

（ 1 ）時代別チーム研究会の課題の検討

・ 「資料編 2 の編集方針」について

・ 調査の優先順位を検討しながら資料編 2 の掲載資料の資料リストの作成

・ 時代ごとの資料掲載分量の調整

資料編 2 は、平成 25 年度に刊行。

平成 24 年度に資料リストの作成、筆耕を進めていかなければならない。

（ 2 ）資料編 2、本編 1・2 の進め方について

資料編 2 について

・ 時代別チーム研究会を踏まえた資料調査および資料リストの作成

本編 1・2（上・下）の分け方

【資料 7 - 1 事務局案：『新八王子市史』通史編 近現代・上（本編 1）】

【資料 7 - 2 事務局案：『新八王子市史』通史編 近現代・下（本編 2）】

事務局案： 明治から昭和初期まで、 戦中から現代まで

明治前期チーム、明治中期から昭和初期（都市部・農村部）チーム

戦中戦後復興期チーム、現代チーム

3. その他

配布資料一覧

資料 1 「平成 23 年度の八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題」

資料 2 近現代部会 資料編 1 編集活動予定表（6 月～9 月）

資料 3 『新八王子市史』資料編 5 近現代 1 の原典校正（初校）・資料解説執筆のお願い

資料 4 近現代 資料編 1 凡例

資料 5 『新八王子市史』資料編 5 近現代 1 解説執筆にあたって

資料 6 東京都公文書館所蔵資料の調査について

資料 7 - 1 事務局案：『新八王子市史』通史編 近現代・上（本編 1）

資料 7 - 2 事務局案：『新八王子市史』通史編 近現代・下（本編 2）

参考 1 新八王子市史 資料編 5 近現代 1 目次

部 会 名	近現代部会 平成 23 年度第 4 回部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 10 月 2 日（日） 午後 1 時 30 分～ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	新井 勝紘	専門員氏名 宮崎 翔一
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 新井勝紘 部会委員 齋藤勉 梅田定宏 佐藤正広 前田成東 源川真希 【事務局】 木内基容子 新井雅人 渡部恵一 宮崎翔一	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 資料編 1 刊行スケジュールの確認</p> <p>【参考 1 新八王子市史 資料編 5 近現代 1 目次】</p> <p>【資料 2 『新八王子市史』資料編 5 近現代 1 の資料解説執筆・例 梅田先生】</p> <p>資料編 1 スケジュール</p> <p>10 月</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料解説の統一性およびチェック 原典校正（二人目）の提出 <p>第 5 章～第 7 章はインデザインで修正作業中のため、11 月までかかる。</p> <p>11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料解説および資料の最終校正のチェック 入稿へ（三校） <p>原典校正者（二人体制）の確認（敬称略）</p> <p>資料解説について</p> <p>記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当の章において、選択した史料の特徴。 該当する時代の旧村（役場）文書の特徴。 研究史や他の自治体史と比較して、選択した史料と八王子市の旧村文書の特徴。 個別史料の具体的な解説など。 <p>提出済み原稿例（敬称略）：</p> <p>(2) 資料編 2 の調査状況について</p> <p>資料収集と資料整理の状況</p> <p>現在借りている資料</p> <p>橋本鋼二氏所蔵橋本義夫関係資料</p> <p>図書・謄写刷は整理完了、スクラップブックは一部を借用し、写真撮影中。</p>		

上川町・久保茂夫家文書、小津町・原金二家文書、絹ヶ丘・原稗夫家文書

小津町・原武家文書

上恩方町・菱山家文書

平成 23 年 8 月 10 日に第 2 回調査を行い、整理中。

八王子織物工業組合文書

・9 月 26 日（月）に調査。

・織物史で収集した資料群が 3 箱（近世から近代）、本島氏収集資料が 10 箱

・次回、10 月 18 日 or20 日で借用予定。

公的機関の調査

・東京都公文書館所蔵資料（織物関係・郡役所文書など）

【資料 3 東京都公文書館所蔵資料の調査について】

・神奈川県立公文書館所蔵資料（基本的には明治 26 年の東京府移管前の資料が中心）

内田家文書（上一分方村名主・近世から近代）

山田家文書（八王子・横山・近世から近代）など

今後取り組むべき調査

人物調査・・・松井翠次郎、前田林太郎（恩方村村長）など

公的機関・・・東京府立織染学校の資料（現在の東京都立桑志高等学校）など

（ 3 ）資料編 2 に向けたスケジュールの確認

【資料 4 八王子市史編集専門部会 近現代部会 「資料編 2」刊行計画】

【参考 2 資料編 2 史料リスト（サンプル）】

平成 23 年度

・時代別チームごとに調査リストおよび掲載資料リストの作成。

・編さん室による個別資料の収集・整理。

平成 24 年度

・資料リストの優先順位をつける。

・優先順位に基づく筆耕作業。

・資料リストおよび筆耕リストをもとに章構成を作成。

平成 25 年度（資料編 2 の刊行年）

・資料解説の作成。

・原典校正および編集作業

・3 月に資料編 2 の刊行。

2 . 検討事項

（ 1 ）時代別チーム研究会の課題の検討

資料編 2 の編集方針

- ・資料編 1 は、八王子市が所蔵する公的な資料である旧村役場文書を中心に扱った。資料編 2 は、明治初期から現代までの時期を対象に、資料編 1 に入れられなかった家別文書など、八王子を象徴する特徴的な項目の資料を編集するのがよいと考える（必然的に近現代を通した資料集となる）。
 - ・調査の優先順位を検討しながら資料編 2 の掲載資料の資料リストの作成
 - ・時代ごとの資料掲載分量の調整
- 資料編 2 は、平成 25 年度に刊行。
平成 24 年度に資料リストの作成、筆耕を進めていかなければならない。

（２）資料編 2、本編 1・2 の進め方について

資料編 2 について

【資料 5】資料編 2 目次案】

- ・資料編 1 において、現代部分は合併資料のみ扱った。そのため現代部分の掲載頁を多めに設定した。

<今後の課題>

- ・章構成について、資料編 1 との関連性。
- ・章ごとの掲載頁の割り振りの検討。
- ・チーム研究会ごとに作成した資料リストと掲載頁数の対応。

本編 1・2（上・下）の分け方

【資料 6 - 1 事務局案：『新八王子市史』通史編 近現代・上（本編 1）】

【資料 6 - 2 事務局案：『新八王子市史』通史編 近現代・下（本編 2）】

事務局案： 明治から昭和初期まで、 戦中から現代まで

明治前期チーム、明治中期から昭和初期（都市部・農村部）チーム

戦中戦後復興期チーム、現代チーム

1 冊の頁数（目次等含む）・・・ 800 頁

3. その他

配布資料一覧

参考 1 新八王子市史 資料編 5 近現代 1 目次

参考 2 資料編 2 史料リスト（サンプル）

資料 1 平成 23 年度八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題

資料 2 『新八王子市史』資料編 5 近現代 1 の資料解説執筆・例 梅田先生

資料 3 東京都公文書館所蔵資料の調査について

資料 4 八王子市史編集専門部会 近現代部会 「資料編 2」刊行計画

資料 5 資料編 2 目次案

資料 6 - 1 事務局案：『新八王子市史』通史編 近現代・上（本編 1）

資料 6 - 2 事務局案：『新八王子市史』通史編 近現代・下（本編 2）

部 会 名	近現代部会 平成 23 年度第 5 回部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 12 月 4 日（日） 午後 1 時 30 分～ 午後 4 時 30 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	新井 勝紘	専門員氏名 宮崎 翔一
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 新井勝紘 部会委員 齋藤勉 梅田定宏 前田成東 源川真希 【事務局】 木内基容子 新井雅人 渡部恵一 宮崎翔一	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>平成 23 年度八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題</p> <p>1. 資料編 1 について</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>資料編 1 の現状について</p> <p>入稿状況（精興社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 章から第 4 章の史料は入稿済み（返却し、担当者チェック）。 ・第 1 章、第 5 章～第 7 章の史料は入稿（来週中に予定）。 <p>担当者チェック</p> <p>【資料 2 『新八王子市史』資料編 5 近現代 1 の入稿後の担当者チェックのお願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精興社からの初校が上がり次第、章担当者にチェックをお願いする ・第 2 章～第 4 章まで担当者チェック済（梅田部会委員・源川部会委員） <p>(2) 検討事項</p> <p>表紙・口絵・扉絵の検討</p> <p>【資料 3 表紙・口絵・扉絵】</p> <p>2. 資料編 2 および本編について</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>資料編 2 の調査状況について</p> <p>資料収集と資料整理の状況（新規）</p> <p>八王子織物工業組合文書【資料 4 八王子織物工業組合資料借用報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月 18 日（火）に借用。 ・織物史で収集した資料群が 3 箱（近世から近代）本島氏収集資料が 10 箱 ・現在整理中。 <p>広報担当の資料調査【資料 5 広報担当の資料調査】</p> <p>庁内報『いちょう』を借用。</p>		

『広報はちおうじ』の PDF データの取得

公的機関の調査

- ・ 東京都公文書館所蔵資料（織物関係・郡役所文書など）
写真撮影の終了
- ・ 神奈川県立公文書館所蔵資料（基本的には明治 26 年の東京府移管前の資料が中心）
内田家文書（上一分方村名主・近世から近代）
山田家文書（八王子・横山・近世から近代）
その他（一点ものの資料群）

（２）検討事項

時代別チーム研究会の課題の検討

資料編 2 の編集方針

- ・ 資料編 1 は、八王子市が所蔵する公的な資料である旧村役場文書を中心に扱った。資料編 2 は、明治初期から現代までの時期を対象に、資料編 1 に入れられなかった家別文書など、八王子を象徴する特徴的な項目の資料を編集するのがよいと考える（必然的に近現代を通じた資料集となる）。
- ・ 調査の優先順位を検討しながら資料編 2 の掲載資料の資料リストの作成
【参考 1 史料リスト】
- ・ 時代ごとの資料掲載分量の調整
資料編 2 は、平成 25 年度に刊行。
平成 24 年度に資料リストの作成、筆耕を進めていかなければならない。

資料編 2、本編 1・2 の進め方について

資料編 2 について

【資料 6 資料編 2 目次案】

【参考 2 資料編 1 目次】

- ・ 資料編 1 において、現代部分は合併資料のみ扱った。そのため現代部分の掲載頁を多めに設定した。

<今後の課題>

- ・ 章構成について、資料編 1 との関連性。
- ・ 章ごとの掲載頁の割り振りの検討。
- ・ チーム研究会ごとに作成した資料リストと掲載頁数の対応。

本編 1・2（上・下）の分け方

事務局案 1：

本編 1：明治から昭和初期まで（明治前期チーム、明治中期から昭和初期（都市部・農村部）チーム） 本編 2：戦中から現代まで

本編 2：戦中期から現代（戦中戦後復興期チーム、現代チーム）

事務局案 2：

本編 1：明治～戦中まで（明治前期チーム、明治中期から昭和初期（都市部・農村部）チーム、戦中戦後復興期チーム）

本編 2：戦後復興期から現代まで（戦中戦後復興期チーム、現代チーム）

3. その他

配布資料一覧

資料 1 平成 23 年度八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題

資料 2 『新八王子市史』近現代 資料編 1 の入稿後の担当者チェックお願い

資料 3 表紙・口絵・扉絵

資料 4 八王子織物工業組合資料借用報告

資料 5 広報担当の資料調査

資料 6 資料編 2 目次案

参考 1 史料リスト

参考 2 資料編 1 目次

部 会 名	近現代部会 平成 23 年度第 6 回部会会議	開催（実施）日時 平成 24 年 1 月 28 日（日） 午後 6 時 00 分～ 午後 8 時 30 分ま で
報告者（部会長氏名） <敬称略>	新井 勝紘	専門員氏名 宮崎 翔一
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 新井勝紘 部会委員 齋藤勉 梅田定宏 佐藤正広 前田成東 源川真希 【事務局】 木内基容子 新井雅人 渡部恵一 宮崎翔一	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>平成 23 年度八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題</p> <p>1. 資料編 1 について</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>資料編 1 の現状について【参考 1 近現代部会 資料編 1 入稿の校正スケジュール】</p> <p>史料部分</p> <p>1. 事務局チェック（第 1 章～第 7 章）</p> <p>木内室長・佐藤専門管理官・新井主幹・渡部主任学芸員</p> <p>2. 入稿（精興社）</p> <p>・平成 24 年 1 月 6 日（金）～13 日（金）：第 1 章、第 5 章、第 6 章、第 7 章</p> <p>3. 担当者チェック</p> <p>【資料 2 『新八王子市史』近現代 資料編 1 の入稿後の担当者チェックお願い】</p> <p>4. 編集チームによるチェック（史料部分）</p> <p>実施日：平成 24 年 1 月 15 日と 21 日</p> <p>編集メンバー：杉山弘・中村元・増沢航専門調査員 事務局（新井・渡部・松田・宮崎）</p> <p><チェック項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あて字 わかるものに関しては、〔 〕で正しい文字に修正。わからないものに関しては〔ママ〕と記した。 ・人名について 原典どおりが基本（原則として）として修正箇所は、上述のとおりに記載した。 ・差別的な表現について 今回のチェックでは特にないと判断した。 ・<u>住所など個人情報の表記の範囲</u> <p>新井部会長案</p>		

- ・生年月日 年まで表記して伏せ字
- ・住 所 昭和期の番地は伏せ字。

史料解説

【資料3 資料編1 史料解説についてお願い】

【資料4 修正箇所について】

1. 事務局チェック

木内室長・佐藤専門管理官・新井主幹・渡部主任学芸員

2. 担当者チェック

- ・第1章～第7章まで返却済み

3. 入稿

- ・第1章～第7章（ワード原稿）までインデザインに変換し、入稿する。

(2) 検討事項

資料編1の口絵および扉絵の検討

【資料5 資料編1 口絵写真一覧】

【資料6 資料編1 口絵写真リスト】

中村元専門調査員と事務局にて相談しながら選定した。

2. 資料編2 および本編について

(1) 報告事項

資料編2の編集方針

- ・資料編1は、八王子市が所蔵する公的な資料である旧村役場文書を中心に扱った。資料編2は、明治初期から現代までの時期を対象に、資料編1に入れられなかった家別文書など、八王子を象徴する特徴的な項目の資料を編集するのがよいと考える（必然的に近現代を通じた資料集となる）。
- ・本編と連携した資料選択を行う。

チーム研究会アンケート報告

【資料7 第6回部会会議チーム研究会現状報告】

- ・明治前期チーム研究会：新井部会長
- ・明治中期から昭和初期（都市部）チーム研究会：梅田部会委員
- ・明治中期から昭和初期（農村部）チーム研究会：源川部会委員
- ・戦中戦後復興期チーム研究会：齊藤部会委員
- ・現代チーム研究会：前田部会委員
- ・人口、経済にみる八王子について：佐藤部会委員

(2) 検討事項

資料編2、本編1・2の進め方について

チーム研究会の現状を踏まえた上で、今後の進め方について検討する。

<大枠の議題>

1. 資料編 2 について

- ・章構成について、資料編 1 との関連性。
- ・章ごとの掲載頁の割り振り。
- ・チーム研究会ごとに作成した資料リストと掲載頁数の対応。

2. 本編について

本編の区切り方

事務局案 1 :

本編 1 : 明治から昭和初期まで (明治前期チーム、明治中期から昭和初期 (都市部・農村部) チーム)

本編 2 : 戦中期から現代 (戦中戦後復興期チーム、現代チーム)

事務局案 2 :

本編 1 : 明治～戦中まで (明治前期チーム、明治中期から昭和初期 (都市部・農村部) チーム、戦中戦後復興期チーム)

本編 2 : 戦後復興期から現代まで (戦中戦後復興期チーム、現代チーム)

<チーム研究会の現状にみる課題>

1. 担当の時代・分野について、八王子をどのように捉えているか
2. その時代を映し出す特徴的な事象 (テーマ)
3. 資料編 2 及び本編に向けた章構成について (検討されている場合)
4. 現状の問題点、チームを越えた課題について

時代をまたぐ分野について

例) 人口・経済 (担当 : 佐藤正広部会委員)

宗教 (担当 : 畔上専門調査員)、交通 (担当 : 山口専門調査員)

織物 (担当 : 鈴木専門調査員)、教育 (担当 : 佐藤高樹専門調査員)

3. その他

近現代部会の活動費について

- ・近現代部会の活動予算状況
- ・平成 24 年度以降の進め方について

<事務局の方針>

- ・予算を 5 つのチーム研究会と編さん室サポートの 6 つに分け、予算を立てる。
- ・予算をチーム内で検討し、各自の活動日数等を決定する。
- ・チーム研究会は、チームの予算内で行う。
- ・時代をまたぐ分野 (宗教・交通・織物・教育) を担当されている方の調査活動は、各チーム研究会の活動の範囲内で行う。

配布資料一覧

- 資料 1 平成 23 年度八王子市史編集専門部会近現代部会 検討課題
- 資料 2 『新八王子市史』近現代 資料編 1 の入稿後の担当者チェックお願い
- 資料 3 資料編 1 史料解説についてお願い
- 資料 4 修正箇所について
- 資料 5 資料編 1 口絵写真一覧
- 資料 6 資料編 1 口絵写真リスト
- 資料 7 第 6 回部会会議チーム研究会現状報告
- 参考 1 近現代部会 資料編 1 入稿の校正スケジュール

<p>部 会 名</p> <p>自然部会</p>	<p>平成 23 年度 第 1 回 自然部会会議</p>	<p>開催（実施）日時 平成 23 年 12 月 12 日（月） 午前・午後 4 時 00 分～ 午前・午後 7 時 00 分まで</p>
<p>報告者（部会長氏名） < 敬称略 ></p>	<p>畔上能力</p>	<p>専門員氏名 佐藤千枝</p>
<p>出席者（参加者）氏名 < 敬称略 ></p>	<p>部会長 畔上能力 部会委員 粕谷和夫 菱山忠三郎 奥田重俊 新井二郎 草野保 岡崎弘幸 須田孫七 須田 真一 専門調査員 内野秀重 【事務局】木内基容子 新井雅人 長谷部晃一 佐藤千枝</p>	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>主に、平成 25 年度刊行の「新八王子市史 自然編」について話し合った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企画編集チームの発足 <ul style="list-style-type: none"> ・今後、本編の企画および編集の重要詳細項目を組み上げていくこととする。 ・メンバー 座長 奥田重俊委員 粕谷和夫副部会長・岡崎弘幸委員・草野保委員・須田真一委員・内野秀重専門調査員 伊東憲正専門調査員・山崎晴雄特定部会委員（計8名 + オブザーバー 畔上部会長） 2. 企画コンセプト案について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局で作成した企画コンセプト案についての意見等をいただき、3月までに完成させることとした。 3. 刊行スケジュール案についての確認 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年3月末までに執筆に必要な項目を固め、4月から執筆開始、9月末に第一稿提出とする。その後、調整期間、校正を行い、平成25年度に刊行。 4. 目次案について（執筆に際しての留意事項について） <ul style="list-style-type: none"> ・地理的な共通理解が必要になるため、一部の原稿を平成24年6月に書き上げる。 ・分野ごとにさらに詳細なタイトル選定、執筆者振分けをしていく。 ・必要に応じて、コラム（トピックス）を挟んでいく。 ・本文では和名での記述を原則とする。（必要あれば学名も入れる場合もある） ・校正の方法について（執筆者以外の専門家のチェックが必要ではないか？） 5. 今後の進行について <ul style="list-style-type: none"> ・3月末までに企画会議を最低2回行い、上記を含めた執筆に必要な項目を詰めていく。 		

第1回企画会議日程 平成24年1月16日(木)を予定。

【配布資料一覧】

新八王子市史 自然編

「企画案」

「刊行スケジュール案」

「目次案」

「資料 - 自治体史の構成」

「自然部会構成図」

- ・年号は西暦のみとする。
- ・その他、計量単位や数字などについて意見をもらう。
- ・

4. 出版企画書（刊行要項および編集方針）案について

- ・多数の執筆者の統一を図るために、読者対象を具体的に設定する。

5. その他 レイアウトや図版について

第2回企画会議日程 平成24年3月8日（木）を予定。

【配布資料一覧】

新八王子市史 自然編

「刊行スケジュール案（詳細案）」

「目次案」

「資料 - コラムについて 索引について」

「執筆要項案」

「出版企画書（刊行要領および編集方針）案」

「資料 イメージページ」5枚

部 会 名	民俗部会 平成 23 年度第 1 回合同調査 (1 日目)	開催 (実施) 日時 平成 23 年 11 月 5 日 (土) 午前 ☐ 午後 ☒ 7 時 30 分 ~ 午前・ ☐ ☒ 9 時 30 分まで
報告者 (部会長氏名) < 敬称略 >	小川直之	専門員氏名 春日祐美
出席者 (参加者) 氏名 < 敬称略 >	部会委員 加藤隆志 入江英弥 宮本八恵子 専門調査員 神かほり 大藪裕子 美甘由紀子 高久舞 【事務局】木内基容子 佐藤広 渡部恵一	
<p>概要 (末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。)</p> <p>鑓水の民俗と暮らしについて 鑓水公会堂 (八王子市鑓水 1027-1) にて、鑓水歴史研究会の会員を中心に集まってもらい聞き取り調査を実施した。</p>		

部 会 名	民俗部会 平成 23 年度第 1 回合同調査 (2 日目)	開催 (実施) 日時 平成 23 年 11 月 6 日 (日) 午前 ☐ 午後 ☒ 1 時 30 分 ~ 午前・午後 ☐ 4 時 30 分まで
報告者 (部会長氏名) < 敬称略 >	小川直之	専門員氏名 春日祐美
出席者 (参加者) 氏名 < 敬称略 >	専門調査員 神かほり 大藪裕子 乾賢太郎 高久舞 【事務局】渡部恵一	
<p>概要 (末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。)</p> <p>鑓水の民俗と暮らしについて</p> <p>鑓水公会堂 (八王子市鑓水 1027-1) に集合した後、2 班に分かれて鑓水歴史研究会紹介の方 2 名の自宅に訪問、聞き取り調査を実施した。</p> <p>(1) 大塚實様方 神調査員、大藪調査員が訪問し調査 (2) 野崎梅男様方 乾調査員、高久調査員が訪問し調査</p>		

部 会 名	平成 23 年度 第 3 回民俗部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 10 月 17 日（月） 午前 午後・10 時 00 分～ 午前・午後 12 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	小川直之	専門員氏名 春日祐美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 小川直之 部会委員 津山正幹 小野寺節子 加藤隆志 宮本八恵子 専門調査員 神かほり 大藪裕子 高久舞 【事務局】木内基容子 新井雅人 佐藤広 渡部恵一 春日祐美	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。）</p> <p>1．報告事項</p> <p>（1）恩方地区調査報告書の進捗状況報告 提出された第 1 稿の分量と章立てを報告。第 3 章の分量が多いため、2 章に分けることとする。</p> <p>（2）由木地区の民俗調査について 鑓水地区の合同調査日程を報告。 平成 23 年 11 月 5 日 午後 7 時から 対象：鑓水歴史研究会会員など 平成 23 年 11 月 6 日 午後から 対象：地域の高齢の方 2 人 越野などでも合同調査を開催する予定。</p> <p>2．検討事項</p> <p>（1）恩方地区調査報告書の検討事項について 第 1 稿は、小川部会長と事務局で内容確認や表記を統一した後、11 月前半に各執筆者に送ることとした。 各執筆者に、11 月 10 日までに調査協力者リストを提出してもらおう。 口絵の選定は、事務局の佐藤専門管理官に一任とする。</p> <p>3．確認事項</p> <p>（1）恩方地区調査報告書のスケジュールを確認 各執筆者は、第 1 稿が返却されたら 2 週間程度で修正し事務局に送付、12 月上旬には入稿原稿を確認する。入稿原稿は、調査協力者にも確認してもらおうこととする。</p> <p>（2）由木地区調査報告書のスケジュールを確認 平成 23 年 12 月 26 日 調査計画書を提出 平成 24 年 8 月 15 日 第 1 稿を提出</p>		

4. その他

- (1) 調査レポートを配布
- (2) 平成24年度の市史研究執筆者について
宮本八恵子部会員が担当することとした。
- (3) 次回会議は12月26日(月)に開催

【配布資料一覧】

- 1. 平成23年度第3回民俗部会会議次第
- 2. 恩方地区民俗調査報告書 第1稿
- 3. 恩方地区民俗調査報告書 ページ数表
- 4. 恩方地区民俗調査報告書 章立て一覧
- 5. 平成23年度 刊行スケジュール
- 6. 恩方地区民俗調査報告 口絵案
- 7. 調査協力者一覧 雛形
- 8. 平成24年度 刊行スケジュール
- 9. 八王子市史民俗調査レポート(昭和26～27年ころの炭焼き値段表)(神調査員提出)
- 10. 八王子市史民俗調査レポート(2011/8/24)(神調査員提出)
- 11. 八王子市史民俗調査レポート(尾崎妙太郎さんが語る醍醐谷の思い出)(神調査員提出)
- 12. 八王子市史民俗調査レポート(2011/6/17)(加藤委員提出)
- 13. 八王子市史民俗調査レポート(2011/9/27)(宮本委員提出)
- 14. 八王子市史民俗調査レポート(2011/9/27)(宮本委員提出)
- 15. 八王子市史民俗調査レポート(2011/9/9)(宮本委員提出)
- 16. 八王子市史民俗調査レポート(2011/9/27)(神調査員提出)
- 17. 八王子市史民俗調査レポート(2011/9/9)(神調査員提出)
- 18. 八王子市史民俗調査レポート(2011/8/21)(加藤委員提出)
- 19. 八王子市史民俗調査レポート(2011/10/12)(高久調査員提出)
- 20. 由木地区文献掲載の伝統的な民家リスト(津山委員提出)
- 21. 平成24年度市史研究原稿 聞き書きノート「むらの商い」(宮本委員提出)

部 会 名	平成 23 年度 第 4 回民俗部会会議	開催（実施）日時 平成 23 年 12 月 26 日（月） 午前 ☐ 午後 ☒ ・ 3 時 00 分 ~ 午前・ ☐ 午後 ☒ 5 時 00 分まで																							
報告者（部会長氏名） <敬称略>	小川直之	専門員氏名 春日祐美																							
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 小川直之 部会委員 津山正幹 小野寺節子 加藤隆志 入江英弥 宮本八恵子 専門調査員 神かほり 美甘由紀子 大藪裕子 乾賢太郎 高久舞 【事務局】木内基容子 新井雅人 佐藤広 渡部恵一 春日祐美																								
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。）</p> <p>1．民俗調査報告書第1集（恩方地区）について</p> <p>（1）原稿調整後の作業の進行（話者確認の方法など）</p> <p>話者（調査協力者）へは、原則として執筆者が自分で確認することとする。</p> <p>（2）タイトル、表紙、口絵等の確認</p> <p>タイトルは次の通り決定</p> <table border="0" data-bbox="323 1108 1313 1335"> <tr> <td>新八王子市史民俗調査報告書 第1集</td> <td>八王子市西部地域</td> <td>恩方の民俗</td> </tr> <tr> <td>第2集</td> <td>八王子市東部地域</td> <td>由木の民俗</td> </tr> <tr> <td>第3集</td> <td>八王子市西南部地域</td> <td>浅川の民俗</td> </tr> <tr> <td>第4集</td> <td>八王子市北部地域</td> <td>加住の民俗</td> </tr> <tr> <td>第5集</td> <td>八王子市中央地域</td> <td>旧市街地の民俗</td> </tr> </table> <p>表紙は案の通り決定</p> <p>凡例は、各委員からの指摘を踏まえて修正し、初校で再び確認する</p> <p>目次は次の通り変更</p> <p>序章ではなく、第1章からはじめる。</p> <p>第二章 九 フジ蔓細工 尾崎妙太郎氏のフジザル作り</p> <p>第五章 二 イエの年中行事 駒木野の菱山家</p> <p>第八章 寺社と民間信仰</p> <p>（3）スケジュールの確認</p> <table border="0" data-bbox="295 1731 861 1910"> <tr> <td>平成24年1月上旬</td> <td>入稿</td> </tr> <tr> <td>2月上旬</td> <td>初校受領</td> </tr> <tr> <td>2月20日ごろ</td> <td>印刷業者へ返却</td> </tr> <tr> <td>2月いっぱい</td> <td>再校受領</td> </tr> </table>			新八王子市史民俗調査報告書 第1集	八王子市西部地域	恩方の民俗	第2集	八王子市東部地域	由木の民俗	第3集	八王子市西南部地域	浅川の民俗	第4集	八王子市北部地域	加住の民俗	第5集	八王子市中央地域	旧市街地の民俗	平成24年1月上旬	入稿	2月上旬	初校受領	2月20日ごろ	印刷業者へ返却	2月いっぱい	再校受領
新八王子市史民俗調査報告書 第1集	八王子市西部地域	恩方の民俗																							
第2集	八王子市東部地域	由木の民俗																							
第3集	八王子市西南部地域	浅川の民俗																							
第4集	八王子市北部地域	加住の民俗																							
第5集	八王子市中央地域	旧市街地の民俗																							
平成24年1月上旬	入稿																								
2月上旬	初校受領																								
2月20日ごろ	印刷業者へ返却																								
2月いっぱい	再校受領																								

3月上旬 再校を返却
念校を受領

2. 民俗調査報告書第2集(由木地区)について

(1) スケジュール確認

第1稿の締め切りは平成24年8月15日

越野、東中野でも合同調査を開催する(日程は後日調整)

3. 次回部会会議の開催について

平成24年2月13日(月) 午前10時からに決定

4. その他

(1) 調査レポートの配布

(2) テーマ別調査について

写真集、機織り関係、祭囃子などでまとめる方向で調整する

【配布資料一覧】

- 1 平成23年度第4回民俗部会会議次第
- 2 話者確認一覧
- 3 構成案
- 4 仕様書
- 5 タイトル案
- 6 表紙、裏表紙案
- 7 口絵案
- 8 目次案
- 9 恩方報告書のスケジュール
- 10 . 八王子市史民俗調査レポート(2011/11/5)(神調査員提出)
- 11 . 八王子市史民俗調査レポート(2011/11/6)(神調査員提出)
- 12 . 八王子市史民俗調査レポート(2011/11/5)(高久調査員提出)
- 13 . 八王子市史民俗調査レポート(2011/11/6)(高久調査員提出)
- 14 . 八王子市史民俗調査レポート(2011/12/21)(高久調査員提出)
- 15 . 八王子市史民俗調査レポート(2011/11/5)(加藤委員提出)
- 16 . 由木地区文献掲載の伝統的な民家リスト 改訂版(津山委員提出)
- 17 . 八王子市史編集専門部会平成23年度第4回会議 報告事項(乾調査員提出)

部 会 名	平成 23 年度 第 5 回民俗部会会議	開催（実施）日時 平成 24 年 2 月 13 日（月） 午前 午後・10 時 00 分～ 午前・午後 12 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	小川直之	専門員氏名 春日祐美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 小川直之 部会委員 津山正幹 小野寺節子 加藤隆志 入江英弥 宮本八恵子 専門調査員 神かほり 美甘由紀子 大藪裕子 乾賢太郎 【事務局】木内基容子 新井雅人 佐藤広 春日祐美	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。）</p> <p>1．民俗調査報告書第 1 集（恩方地区）について</p> <p>（1）初校について</p> <p>デー、デイ、デエはそのまま表記する。 カヤは「茅」に統一する。 その他は資料 1 の通りに統一する。 写真キャプションは「写真 1-1 キャプション（場所、撮影年月日、所蔵者）」とする。 地名のルビは現地で話している通りに掲載する。 数量には「十」「百」「千」を原則入れないこととする。 敬称は「さん」に決定。ただし、「神職」や「師」は例外とする。 匿名のイニシャル表記、アルファベット表記は、現在のまま掲載する。 口絵写真は 4 ページ、小川洸太郎さん巻頭写真は 8 ページの計 12 ページとする。</p> <p>（2）スケジュール</p> <p>初校返却は平成 24 年 2 月 20 日に変更する</p> <p>2．民俗調査報告書第 2 集（由木地区）について</p> <p>（1）スケジュール確認</p> <p>第 1 稿の締め切りは平成 24 年 8 月 15 日 越野での合同調査は 3 月中旬に開催予定とする</p> <p>（2）調査時の配布資料について</p> <p>資料 2-1 項目 4 の「お礼など」を削除し、試行する。</p> <p>（3）話者リスト配布</p> <p>3．次回部会会議の開催について</p>		

平成24年4月20日(金) 午後6時からに決定

4. その他

- (1) 各構成員の調査予定を配布
- (2) 調査レポートを配布
- (3) 活動謝礼等について確認

口頭にて確認、後日、文書としてまとめて各構成員に配布することとする。

(4) その他

聞き取り調査で個人宅に訪問する際、お礼品があった方が良くと部会長、部会員、専門調査員から要望。議論の後、編さん室内で再度検討し、後日回答することとする。

【配布資料一覧】

- 10. 平成23年度第5回民俗部会会議次第
- 11. 表記統一
- 12. 民俗調査のお願い(調査当日に話者に渡す書類)
- 13. 民俗調査での個人情報の扱いについて(調査当日に話者に記入してもらう書類)
- 14. 由木話者リスト
- 15. 各構成員の調査予定
- 7. 八王子市史民俗調査レポート(2011/10/20)(宮本委員提出)
- 8. 八王子市史民俗調査レポート(2011/10/24)(宮本委員提出)
- 9. 八王子市史民俗調査レポート(2011/10/25)(宮本委員提出)
- 10. 八王子市史民俗調査レポート(2011/11/8)(宮本委員提出)
- 11. 八王子市史民俗調査レポート(2011/11/5)(宮本委員提出)
- 12. 八王子市史民俗調査レポート(2012/1/14)(神調査員提出)
- 13. 八王子市史民俗調査レポート(2012/2/3)(入江委員提出)
- 14. 八王子市史民俗調査レポート(2012/2/9)(佐藤専門管理官提出)

平成 23 年度市史編さん事業実施状況

1. マイクロフィルム作成等

(1) マイクロフィルム作成

(2) マイクロフィルム紙焼き出力

2. 市民講座の開催

講座名 中世の八王子を語る～横山党から北条氏照まで～

会場 生涯学習センター

(11/11・11/18 5階ホール、11/25 視聴覚室・第2学習室 12/2 視聴覚室)

各回の内容

開催日	テーマ	講師	出席者数
11/11	横山党と船木田荘	小林一岳	137人
11/18	室町時代の長井氏と大石氏	徳永裕之	137人
11/25	北条氏照の滝山領支配	加藤 哲	106人
12/2	北条領国の拡大と北条氏照の役割	池上裕子	67人

3. 八王子学園都市大学いちょう塾への講座提供

公開講座

講座名	講師	開講日	受講者数
スマレの名山・高尾山	新井二郎	4/9	
日光往還 - 地図で辿る八王子千人同心の道	馬場喜信	6/4	
古代八王子の世界に生きる	関 和彦	9/3	
八王子市の板碑について	縣 敏夫	9/24	
紀行と地図で読む八王子	馬場喜信	10/22	
「絹の道」と「水上のシルクロード」を考える	新井勝紘	11/19	
石仏入門	犬飼康祐	11/26	
殖産興業と谷合為政	沼 謙吉	1/14	

月別講座

講座名	講師	回数	受講者数
日本刀の魅力と郷土刀である武州下原刀の研究	後藤安孝	4回	
八王子の山車建築、彫刻を知るための山車学入門講座	相原悦夫	2回	
観音信仰と八王子・多摩の仏像	齊藤経生	3回	
山岳仏教と修験	相原悦夫	2回	

平成24年度市史編さん費 予算の概要(抜粋)

費目	項目	平成24年度予算額(円)	平成23年度予算(1,000円未満切り捨て)		
			予算額(円)	執行額(円)	
1報酬	審議会委員、編集委員会委員報酬	12,000円×10人×7回	840,000	1,080,000	900,000
	嘱託員報酬	市史編さん専門員×6人	16,457,000	16,655,000	16,326,000
7賃金	臨時職員賃金	臨時職員12人分	10,179,000	10,807,000	10,767,000
8報償費	専門部会調査研究活動謝礼	専門部会×6部会	28,567,000	22,135,000	30,606,000
	古文書筆耕謝礼	(900円or625円)×5,000枚分	4,275,000	2,700,000	3,537,000
	写真撮影謝礼	30,000円×35日	1,050,000	1,000,000	1,530,000
	史料校訂謝礼	900円×2,000枚	1,800,000	2,835,000	3,107,000
	原稿執筆謝礼	資料編近世1、民俗調査報告書	5,690,000	6,801,000	5,598,000
9旅費	旅費	委員等及び職員分	1,400,000	1,200,000	1,002,000
11需用費	消耗品費	文具・図書・調査用消耗品等	3,290,000	2,545,000	2,467,000
	刊行物印刷製本費	資料編近世1、民俗調査報告書	8,632,000	23,700,000	14,409,000
13委託料	マイクロフィルム作成委託料	24万コマ撮影分	18,648,000	42,000,000	40,257,000
	マイクロフィルム紙焼き出力委託料		0	8,337,000	8,123,000
	資料燻蒸委託料		767,000	780,000	766,000
14役務費	複写機使用料	室内及び他施設複写料	1,158,000	700,000	807,000
18備品購入費	備品購入費		0	0	2,122,000
	市史編さん費合計		111,826,000	152,654,000	152,512,000

平成24年度 市史編さん事業スケジュール(案)

NO	事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1	市史編さん審議会													年3回を予定
2	市史編集委員会													年4回を予定
3	専門部会調査・研究活動													
	原始・古代部会	資料編編集・校正	資料編刊行											26年度 本編刊行
	中世部会	地域調査・資料調査												25年度 資料編刊行
	近世部会	選択・筆耕(資料編1)			(資料選択・筆耕(資料編2))									26年度 資料編2刊行
	近現代部会	資料選択・筆耕												25年度 資料編2刊行
	自然部会	調査・原稿執筆						(編集・校正)						25年10月本編刊行
	民俗部会	テーマ別調査・地域別調査												
		調査報告書(第2集)原稿執筆						(編集・校正)						調査報告書刊行
4	市民講座開催							講座開催						
5	いちょう塾提供講座開催	前期講座						後期講座						
6	「稲荷山通信」発行				第10号				第11号				第12号	
7	『市史研究』発行	原稿依頼・募集						編集		印刷契約 出稿			第3号 刊行	
8	マイクロフィルム作成		契約											
9	古文書等資料薫蒸						燻蒸							
10	庁内職員研修									研修会開催				

『八王子市史研究』第3号の概要について

1. 名称 八王子市史研究 第3号
2. 体裁 A5判 縦書き 1段組(一部2段組) 160p程度
3. 発行部数 2,000部
4. 発行日 平成25年2月
5. 原稿
 - (1) 依頼原稿
専門部会構成員を中心に依頼する。
 - (2) 投稿原稿
一般から原稿を募集する
6. 編集体制
編集委員会委員3名(委員長1名、委員2名)と事務局で投稿原稿の審査及び編集を行う。

創刊号担当 藤田委員長 関委員、前田委員	第2号担当 藤田委員長 新井副委員長、小川委員
----------------------------	-------------------------------
7. 編集、刊行スケジュール

平成24年4月	投稿原稿募集
5月	依頼原稿執筆先の決定、依頼(第1回編集会議)
7月	投稿原稿申込み締切り
9月	投稿原稿提出締切り
10月	投稿原稿審査(第2回編集会議) 依頼原稿提出締切り
11月	編集開始
平成25年2月	刊行
8. 内容(案)
 - 特集 - 論文3本程度
 - 論文 - 3本程度
 - 資料紹介、調査報告 - 2本程度
 - 一般投稿 - 2本まで
 - 市史編さん室覚書 - 日誌、名簿等

平成 24 年度「市政モニター」及び「げんきフォーラム」について

1. 市政モニターに対するアンケート調査の実施

(1) 制度の概要

公募による市政モニターに対するアンケート調査を実施し、今後の市政運営に役立てる。モニターは郵送で回答する一般モニターと E メールで回答する E メールモニターを合わせて 100 名。年に 3 回（6 月、9 月、12 月）実施する。

(2) 調査の目的

市史編さん事業は 10 年間の事業期間の半ばを迎え、資料編、市史叢書、民俗調査報告書の刊行が始まった。そこで、事業後半を迎えるにあたり、市史刊行物の販売促進や編さん事業終息後の資料活用のあり方など、今後の市史編さん事業の方向性を探るための調査を実施する。

(3) 調査の時期

平成 24 年 9 月調査または 12 月調査（予定）

参考 別紙「平成 22 年度市政モニター第 3 回アンケート結果」
テーマ「広報はちおうじについて」

2. げんきフォーラムの開催

(1) 制度の概要

市長ほか 3 名のパネリストによる公開討論を通し、市政に関わるさまざまなテーマについて市民とともに考える催し。年に 1 回開催する。

(2) 開催の目的

平成 23 年度から、資料編、市史叢書、民俗調査報告書の刊行が始まり、市民の市史編さんに対する関心が高まっているこの時期をとらえ、市の歴史に関する市民の興味と関心を喚起し、市史編さん事業を広く市民に普及する機会とする。

(3) 開催時期

平成 25 年 1 月～ 2 月（予定）

参考 別紙「平成 23 年度げんきフォーラム」
テーマ「自然と共生したまちづくり」

平成 22 年度市政モニター 第 3 回アンケート結果

テーマ「広報はちおうじ」について

総合政策部広聴広報室広報担当

八王子市総合政策部広聴広報室

目 次

《市政モニターの属性》	1
テーマ	
【「広報はちおうじ」について】	
問1 どのように読んでいますか	2
問2 主に読む部分を教えてください	3
問3-1 改善した方が良いと感じる点がありますか	4
問3-2 改善するためのアイデアについて（自由記述）	5
問4-1 「特集」のうち良かったものはどれですか	8
問4-2 問4-1のうち特に良かったものはどれですか。 またその感想（自由記述）	9
問5 「広報特集号」について	14
問6 「コラム」について	15
問7 今後どのような記事を充実させていくべきか	16
問8 「広報はちおうじ」とホームページについて	17
問9 広報媒体について	18
問10 各戸配布について（自由記述）	19
問11 ご意見・ご要望（自由記述）	24

《 市政モニターの属性 》

(太枠内は今回の回収数)

		一般		Eメール		合計	
全体		36	35	58	48	94	83
性別	男性	11	10	31	27	42	37
	女性	25	25	27	21	52	46
年代	10歳代	0	0	0	0	0	0
	20歳代	0	0	7	4	7	4
	30歳代	13	12	17	12	30	24
	40歳代	5	5	7	6	12	11
	50歳代	5	5	5	5	10	10
	60歳代	9	9	20	19	29	28
	70歳代	3	3	2	2	5	5
	80歳代	1	1	0	0	1	1
地区	中央 (本庁地区)	7	7	13	9	20	16
	西南部 (浅川・横山・館地区)	8	8	13	9	21	17
	東部 (由木・由木東・南大沢地区)	5	4	15	13	20	17
	西部 (元八王子・恩方・川口地区)	6	6	5	5	11	11
	東南部 (由井・北野地区)	6	6	10	10	16	16
	北部 (加住・石川地区)	4	4	2	2	6	6

※ アンケート実施期間:平成 22 年 12 月8日から平成 22 年 12 月 21 日まで

※ 回収率: 88.3%

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

※ 割合の表現については、各値が、「0.0%」の場合は「〇割」、「0.1~0.9%」の場合は「ほぼ〇割」、「1.0~3.9%」の場合は「〇割強」、「4.0~5.9%」は「〇割台半ば」、「6.0~8.9%」の場合は「〇割弱」、「9.0~9.9%」の場合は「ほぼ〇割」との表記を基本とする。

※ 自由記述等については、通し番号でありモニター番号ではない。

テーマ 「広報はちおうじ」について

総合政策部広聴広報室広報担当

「広報はちおうじ」は、市役所と市民の皆さんを結ぶ重要な広報手段です。広聴広報室（広報担当）では、皆さんに親しみを持っていただける、また、皆さんが必要とする情報をきちんとお伝えできる広報紙をめざして、発行業務を行っています。そこで、今後の広報紙づくりについて研究を行うため、皆さんに広報紙をお読みになった感想や、どのような情報が求められているかなどについてお尋ねします。

広報「はちおうじ」は月2回、1日号と15日号に発行。10月15日号から、各家庭のポストなどに直接お届けする「各戸配布」を実施しています。

問1 「広報はちおうじ」をどのようにお読みになっていますか。 （○は1つだけ）

(n=83)

	構成比(%)
ほとんどの記事を読んでいる	60.2
興味がある記事に目を通す程度	37.3
救急診療や検診など、生活に必要な記事に目を通す程度	2.4
表紙を見る程度	0.0
コラムを読む程度	0.0
読まない	0.0

「広報はちおうじ」をどのように読んでいるかと聞いたところ、「ほとんどの記事を読んでいる」と答えた方がほぼ6割(60.2%)であり、「興味がある記事に目を通す程度」と答えた方が4割弱(37.3%)であった。

問2 「広報はちおうじ」の紙面は、特集や情報ファイル、ひろばなど複数のコーナーで構成しています。紙面の中で、主に読む部分を教えてください。

(〇はいくつでも)

(n=83)

	構成比(%)
特集(1日号の1面～3面、または5面)	77.1
一般的なお知らせ(市政情報)	75.9
一般的なお知らせ(催し)	78.3
広聴のコーナー「みんなの声」	51.8
情報ファイル	51.8
救急診療	37.3
相談カレンダー	18.1
ひろば(市民活動情報)	39.8
コラム(1日号…「歴史の散歩道」、15日号「自然うおっちんぐ」)	37.3

「広報はちおうじ」の紙面の中で、主に読む部分を教えてくださいと聞いたところ、「一般的なお知らせ(催し)」と答えた方が8割弱(78.3%)と「特集(1日号の1面～3面、または5面)」と答えた方が8割弱(77.1%)であった。

問3-1 「広報はちおうじ」をお読みになって、改善した方が良いとお感じになる点がありますか。 (〇はいくつでも)

(n=83)

	構成比(%)
文章量が多い	8.4
みだしや文章の表現がわかりにくい	8.4
写真や図が少ない	8.4
行政情報のお知らせばかりでつまらない	6.0
読みたい情報を探しにくい	13.3
求める情報が載っていない	10.8
2色刷りで味気がない	7.2
今のままでよい	48.2
その他	18.1
無回答	1.2

【その他】

- 1 はさんであるだけなので、子どもがばらばらにしまうと読みづらい。
- 2 カラーは必要なし。2色刷りで良い。
- 3 行事の情報が記載されているページについて、行間がつまり過ぎて、読む気がしないのでもう少し工夫をお願いしたい。
- 4 地域情報は地域ごとにまとめた中でわかりやすくして欲しい。
- 5 ほとんど見ていないのでわからない。
- 6 コストが心配。
- 7 催しやサークル等場所が分からない時がある。
- 8 投書欄
- 9 ページ数が少ない。
- 10 縦書きで読みにくい時がある。
- 11 知りたい情報が少ないと思う。
- 12 字が小さい。

「広報はちおうじ」を読んで、改善した方が良いと感じる点はあるかと聞いたところ、「今のままでよい」と答えた方が5割弱（48.2%）であった。

問3-2 改善するためのアイデアがあればお書きください。

(自由記述)

- 1 真ん中にホチキスなどで留めてあるとうれしい(手間になるが。)
- 2 取り立てて、悪いところは見当たらない。よって、現状維持をしてほしい。大きさもちょうど良いし、二食刷りでもモノクロでも良いし、紙質も適切だと思う。量も良いし。何か文句がある方が不思議な位だ。もし今回「カラーで」という要望が沢山出たとしても、私は変える必要性を感じない。税収の少ない今、費がかかるほうが問題だ。
- 3 基本的には、2色の色は目に優しいし、内容も、今のままで良いと思うが、更に願えれば、市民の生の情報が載るようなコラム欄があると面白いと思う。八王子市にスポーツ・文化で貢献した人またはグループの情報を、コラムに載せるようなことが良いのではないかと思う。また、八王子に関係ある花・木・動物等の、シリーズ特集を載せるのも良いのではないかと思う。
- 4 ページ数に余裕をつくり(できれば、もう2ページぐらいずつ増やす)、全体の行間を空けてもらいたい。
- 5 必要な情報を見るのに探しづらい(はじめから全部注意しながら見ないと大事な記事を見落としてしまう)ので、見出し、レイアウトなどに工夫がほしい。
- 6 表紙に目次が簡潔に出ているが、もう少し詳しく書かれていると求める情報を探しやすくなると思う。
- 7 今のままでも面白いし、有用な情報は時々参考に使っている。改善の意味が良く分からないが、多色刷りにするとかであれば余計な費用を掛けるなど言いたい。全ての記事がそれぞれ個人に関係するはずが無いので、自分にとって必要な記事を読めれば良いと思う。
- 8 情報ファイルや、相談カレンダーのページに日程と番号を振り、その番号の説明文を書いたら、日は何があると分かり易くて良いと思う。今の状態では、何時行われるのか、重なる物が無いのかが分かりにくい。また、日程を太字にするなどしても、分かり易いかと思う。
- 9 広聴のコーナー「みんなの声」子供からの声も積極的にのせて欲しい。
- 10 広報に載せていないが、ホームページで発信している情報が広報(テーマ)でわかると便利。「広報はちおうじ」でわからなくてホームページでさがしても見つからないときは「ガッカリ」する。ホームページで広報に載っているテーマやホームページに載せているテーマなどが一目でわかると便利。
- 11 地域の催しものなどは全体の中に埋もれてることで探すことの苦労があると思う。できれば地域ごとに分けられるものであれば自分の知りたいことが一目でわかるのではないか。
- 12 全てを十分な情報として載せる事は、知りたい情報が探しにくかったり、不十分だったり、紙面に限りがあったりするので、的を絞った物にして、たとえばその月の内に見なければならぬ物は出来るだけ詳しく、そうでない物たとえば、市の財政状態などは、詳しく載せて有る情報の場(ホームページ、市役所の窓口とか)を紹介する。要求に応じて資料を配布するなど、いずれにしても、情報弱者を支援するボランティア団体との連携も含めて、情報のネットワークの構築が望まれる。

- 13 講座の内容などはゴチャゴチャしていて次の記事との境が分かりにくいので、横書きとかで整然と線がひかれた中に書いてあるほうが見やすい。
- 14 若い人が興味を持つような内容をもっと含めて欲しい。(八王子のショッピング・美味しいお店・新しいお店の情報等・・・)
- 15 広く浅くではなく、いくつかの年齢設定やコースを作成し、希望コースを募ってみてはいかがか？
- 16 もう少し、文章表現や構成を柔らかくしたり、(様々な外国人が、八王子に住んでいるので) 要点だけを英語表記にするのも良いかと思う。
- 17 ひろば 読みづらい、少し間隔を広げ、読みやすくしてほしい。何でも記載すればよいと言う物でもないを考える。
- 18
 - ・各項目の見出し(キャッチコピー) を判りやすいものにする。
 - ・読者モニターを写真付き(本人の希望に基づく) 等で利用し、市民の認知度・強感度を高める。
 - ・訴求したいポイントだけでもポイントを大きな字にする。
 - ・八王子名誉市民(北島三郎? アンジャッシュ?) からの告知(もちろんボランティア) などで有名人の活用し、市民の関心度を高める(サブちゃんならやってくれる)
 - ・八王子をアピールする組織を呼び掛け、ボランティアで企画を考えてもらう。
- 19 申し訳ありません。ほとんど見ていないのでわかりません。
- 20 できればカラーで、写真やイラストをたくさん取り入れて見やすくしてもらいたい。懸賞プレゼントなどのコーナーを取り入れるのも良いと思う。
- 21 字も大きく見やすい。色数は少ないが見やすいしコスト削減が良いと思う。唯、情報ファイルやひろばで開催される場所が分からない時がある。主な会館以外にも簡単な地図が欲しい。
- 22 この手の要望を取ると、読まない人まで過剰品質を要求し知れに答えていたら際限ないコストアップか品質ダウンとなるので、常にコストダウンの啓蒙も必要と考える。個人的感想では次のように思う。
 - (1) (各種法人の情報誌見ても) 月 1 回の情報提供で十分用が足りているし月 2 回は地球に優しくない。
 - (2) 全市民への配達は迷惑している人もいるのでは？
 - ・メールやホームページ閲覧を希望する人。
 - ・フリーペーパーのように駅やコンビニ、スーパーなどで気楽なピックアップを希望する人。
 - ・希望する人にのみ毎月配達。
- 23 他の市の広報を見たことがないので比較できない。このアンケートで他の市の広報で、こんな特集をやっているけど、皆さんはどうかなどの情報を載せてくれるといいと思う。
- 24 特集の内容が自分に関係ないことが多いので興味のあることが少ない。
- 25 ささやかな意見を言わせていただくと、「ひろば」の内容は判りづらい。内容を充実するか、ホームページに移行してもらいたい。
- 26 なんとなく、楽しくない紙面。かたい感じ。

- 27 お役所の発行なので仕方がないが、全体の感じも文章も、堅すぎるのももう少し柔らかいものに出来ないか。問7の二色刷りで味気ないとのことで、色を付ければ華やかにはなるが、予算が掛るのも、もったいない。このままで見出しのインパクトを工夫し、内容も簡潔にしたらどうか。
- 28 広報を含めて市政に対して、市民が思った事を自由に投書出来る欄を設けても良いのではないだろうか。そしてその投書に対して、市がどのようにやっているか、やろうと思っているかとかを、皆が読めるようにすれば、市民の市への理解が深まると思う。
- 29 もっと市民の声や市内のお店の声など、生きた情報があるとよいと思う。お祭りや市の催しも、もっと具体的な紹介があってもよいのでは？
- 30 【子育て・教育】の欄→横書きの方が読みやすいのではと思う。月齢や生まれ年など数字が多いのでその方が良いと思う。また、見る親の世代も横書きのものに慣れている分、情報が目に入りやすく関連記事にも目が向くのでは…。
- 31 もう少し生活に密着した情報を載せてほしい。
- 32 八王子の民話をイラスト入りで紹介してほしい。
- 33 おおむね今の内容で良いと思う。もう少し市内のイベントを多く載せてほしい。
- 34 横書きにしたら良いと思う。(現在は、縦書きの部分と横書きの部分があるので読みにくい)
- 35 大きな写真は減らして中位のものにして情報を増やしてほしい。食に関する情報を増やしてほしい。
- 36 ちょっとマンネリ化しつつあるような気がする。高齢化時代に入るので視覚に訴えるよう、見やすくしてもらおうといいと思う。
- 37 冊紙をもう少し大きくして字を大きく改善する。
- 38 イメージキャラクター（イラスト）を決める。漫画を載せる。
- 39 本文の書体が全て明朝体だと堅苦しく感じる。催し物などの記事は丸ゴシックを使うなどすれば読みやすくなると思う。
- 40 私は今まで市の広報によって多くの講座を知り参加してきた。限られたページに多くの情報を記載するのは無理かと思うが、ページ数を増やしても多くの情報を記載して欲しいと思う。
- 41 ①必要な記事は切り取ってカレンダーに貼っているが段が変わると面倒。②議会が開かれる月の広報は大きくPRして欲しい。③市役所に気軽に行けるような食堂のスペシャルメニューランチや特産物店もあるといい。
- 42 情報がつまんでいて見にくい。
- 43 市民参加の記事がもう少しあってもいいと思う。
- 44 確かに文章量が多い気はする（読み落としている）市が大きいし、仕方ないのか？とも思うが。
- 45 子育て中の方、高齢者の方向けコーナーなどターゲットをわかりやすく分けることは別に差別ではなく見やすいと思う。例えば仲間集めコーナーなど、星マークは若い人、車いすマークは障害者向け行事など、ぱっと見て目を引くようにしては。
- 46 八王子の自然の写真をシリーズで載せて欲しい。南大沢の方の八王子の情報が少ない。
- 47 若い世代が興味をひく記事を載せて欲しい。広報モニターを作ったら？

48 催し物など日時が特定している情報に関してはカレンダー形式で表示してみてもいいか？（詳細は後ページにのせる）

問4-1 「広報はちおうじ」の1日号では表紙から「特集」を組み、重要な市の計画や事業、地域の情報などを詳しくお知らせしています。次の「特集」のうち、ご覧になって良かったものをすべてお答えください。（〇はいくつでも）

(n=83)

	構成比(%)
1月1日号「はちおうじの環境守り人」	24.1
2月1日号「スーパーアルプス第60回 全関東八王子夢街道駅伝」	14.5
3月1日号「平成22年度予算案」	25.3
4月1日号「環境に関する4つの計画を策定」	24.1
5月1日号「高齢者の暮らしを支える『地域包括支援センター』」	39.8
6月1日号「障害者の『就労』を考える」	21.7
7月1日号「21年度の決算概要」	18.1
8月1日号「第50回八王子まつり」	38.6
9月1日号「10月からプラマークはすべて資源物に」	54.2
10月1日号「レポート・子どもミーティング」	8.4
11月1日号「八王子駅南口『まちびらき』」	59.0
12月1日号「八王子市の消防団」	25.3
無回答	6.0

「広報はちおうじ」の「特集」のうち良かったものをすべてお答えくださいと聞いたところ「八王子駅南口『まちびらき』」がほぼ6割（59.0%）であり、次いで「10月からプラマークはすべて資源物に」と答えた方が5割台半ば（54.2%）であった。

問4-2 「問4-1」で答えた特集のうち、特に良かった特集を「問4-1」の一覧から1つだけ選んでください。また、その感想を自由にお書きください。

(○は1つだけ。自由記述)

(n=83)

	構成比(%)
1月1日号「はちおうじの環境守り人」	3.6
2月1日号「スーパーアルプス第60回 全関東八王子夢街道駅伝」	4.8
3月1日号「平成22年度予算案」	1.2
4月1日号「環境に関する4つの計画を策定」	0.0
5月1日号「高齢者の暮らしを支える『地域包括支援センター』」	7.2
6月1日号「障害者の『就労』を考える」	7.2
7月1日号「21年度の決算概要」	2.4
8月1日号「第50回八王子まつり」	7.2
9月1日号「10月からプラマークはすべて資源物に」	20.5
10月1日号「レポート・子どもミーティング」	2.4
11月1日号「八王子駅南口『まちびらき』」	24.1
12月1日号「八王子市の消防団」	8.4
無回答	12.0

「広報はちおうじ」の「特集」で良かったもののうち、特に良かった特集を1つだけ選んでくださいと聞いたところ「八王子駅南口『まちびらき』」が2割台半ば(24.1%)であり、次いで「10月からプラマークはすべて資源物に」と答えた方がほぼ2割(20.5%)であった。

【自由記述】

1月1日号「はちおうじの環境守り人」

- 1 つい忘れがちな自然環境、自然と調和しながら生活をし、自然を守っていくことの必要性を、再認識させられた。たとえ家の周りに泉が湧く場所が無くとも、自然と調和を図り環境を守っていく大切と思う心を養っていく事が必要だろう。下水を下水道管に接続する事を二の次にして放置している、また、くわえタバコで路上を歩く、のみならず、吸殻のポイ捨てをする、などの行為は取り巻く環境に生かされている自分を忘れた、自己中心的な意識の表れだろう。自然環境との調和を考えていく事により、社会人としての自覚も養われて行くのではないか。このことこそ、大人が、次の世代の子供たちに受け継がなければならない大切な事では無いか。

2月1日号「スーパーアルプス第60回 全関東八王子夢街道駅伝」

- 1 駅伝が好きなので。
- 2 毎年駅伝を見に行くが参加チームは分かるが、どこが先頭（各クラス）でどこがラストか分からない。

3月1日号「平成22年度予算案」

- 1 平成22年度の予算案を見て、私たちが納めた税金の使い道が如何になっているか、市民はもっと関心を持つてみるべきだと思うので特集号を組んでもよいのではないだろうか。わざわざ、市役所や事務所まで市税白書・財政白書を貰いに行かないのではないだろうか。
- 2 市の決算概要を見ることにより市全体の様子を感じることが出来る。市民にとっては大事なこと。

5月1日号「高齢者の暮らしを支える『地域包括支援センター』」

- 1 地域包括支援センターに関する知識がなかったので、その場所から始まって、その組織、活動内容など、将来の自分たちの高齢化対策としての同センターについて、知る事ができ、良かったと思う。
- 2 地域包括支援センターのことがよくわかった。
- 3 地域包括支援センターの活動については、ある程度の理解が出来たが、これを何回かにわたって、掘り下げて紹介しても良かったのでは、とも思う。
- 4 自分も含め、これから高齢者が増えるのでタイムリーな特集だった。しかし、あまりにも地域包括センターが少なすぎる。小宮に住んでいるが、この地区の包括センターに行こうとしたら車が無ければ行けない。このため市役所の支所や各町会、包括センターが中心になって、地域のボランティアや老人パワーを利用して、八王子ならではの助け合いの取り組みをしたらどうかと思った。
- 5 地域包括支援センターについてよく知らなかったので理解ができ良かった。
- 6 いつも特集に目を通して目を通しているが印象に残ったのはこれだけであった。他が欠点があるというわけではなく、この回の地域包括支援センターの方の写真と文章が印象に残っている。

6月1日号「障害者の『就労』を考える」

- 1 障害者の人や親御さんに希望を持たせたと思う。年に1回は特集してほしい。同じ人でも良いから。クリエイトホールの1F喫茶店で何度も食事やクッキー購入で利用した。その度に思うことは、彼らにとってここの職場があつて良かったなということと、このような職に就けない人の将来はどうなるのだろうか？という絶望だった。良き指導者がいれば、雇用は可能ではないか。将来の希望をつなぐ記事だった。友人知人の中に、障害を持つお子さんを持っている人の話も聞いたことがあるので、障害者雇用の問題は深刻だなと感じるのだ。
- 2 自分は20年近く知的障害者の施設にかかわってきて、自分の考えからその福祉施設を社会福祉法人にしてきた。安定できる施設と目指しているが、地域就労と言う目標は大変で障害者自立支援法という法の中で大変な時代を迎えている。紹介されているオリンパスという企業がたくさんあるわけではない。障害という枠の中で知的障害の就

- 労はとてもハードルが高いために施設での取り組みにどう取り組んでいくかは大変なものがある。障害福祉で広報に載ったことの影響は当事者にはかなりあったようだ。
- 3 問3までのとおり、全く読んでいないのだが、特集名を見て6番については読んでみたいと思った。
 - 4 障害者の多くは「自分も働きたい。社会の一員として普通に生活したい」という希望がある。私は行政企業が一体となって障害者雇用に取り組んでほしい。
 - 5 障害者が働きたくても働けない現状、市のサポート体制が良くわかる記述であったと思う。

7月1日号「21年度の決算概要」

- 1 未消化ではあるが、「市の家計簿」として、歳入、歳出が一目で把握できるのでおもしろい。
- 2 市の決算概要を見ることにより市全体の様子を感じることが出来る。市民にとっては大事なこと。

8月1日号「第50回八王子まつり」

- 1 八王子の主要イベントだから興味深かった。
- 2 行きたくなった。
- 3 八王子祭りに行きたくなるような内容が良かった。
- 4 八王子の祭りでどこにもない八王子の風土が薄れる中にこの文化はいまだ健在でこれからも育て守りたいと思う。
- 5 第50回八王子まつり～川越まつり位にレベルアップ(動員数)する為の諸企画をさぐる。

9月1日号「10月からプラマークはすべて資源物に」

- 1 プラマークが有料回収でなくなったという現実が主婦としてはうれしいニュースだった。
- 2 ゴミ出しの有料分(不燃ごみ)が少なくなったので助かったと思った。資源リサイクルとして再活用出来るのは良いと思うが、そのために余計な費用が掛かるのであれば考えもの。
- 3 資源物の出し方の再確認が出来た。
- 4 ゴミの出し方がまだ不慣れで、改めて出し方を認識させられたから。
- 5 資源のない日本で、八王子市の「10月からプラマークはすべて資源物に」を知ったとき遅すぎたと感じた。ペットボトルの回収も国内であまり再生しないで中国に流出していることメディアで知り、「プラマーク」もどの程度国内で資源物に再生されるのかと一瞬「脳裏」をよぎった。しかし、今は分別に夢中になっている。
- 6 今後のゴミ出しに非常に役立つ情報だった。
- 7 燃えないゴミが非常に多く、費用負担が大変だったが、それが改善されることが分かりやすく記載されていたので。
- 8 ごみの分別が変わったので、注意喚起する内容でわかりやすかった。
- 9 あまり特集記事は読まないのだが、9に関しては生活に必要な情報だったので読んだ。
- 10 今回の収集方法の変更については、「ごみ・廃棄物」から「資源」への視点を強めて取り組んだものと理解している。市民の一人としてもこの新たなシステムが円滑に運用されるように協力しなければと思いながら特集号を拝見した。

- 11 ごみの分別の仕方がわかりやすい。
- 12 ずっと待っていたプラスチックの回収だったので興味深く読んだ。ただ、仕分け方については少し不親切だった気もした。
- 13 実生活に直接伴うことだったので、特集を組んでくれたことで再認識できた。
- 14 10月1日から稼動しているプラスチック処理の見学をした。汚れた物、他の物との選別が大変な作業と始めて知った。今後気をつけて出そうと心から思った。
- 15 プラマークの出し方の確認が出来たため。

10月1日号「レポート・子どもミーティング」

- 1 我が家の小学生が一生懸命読んでいた。広報は大人だけでなく、子供が読めるコーナーもあるといいと思う。
- 2 いつも大人の視点でかかれる広報誌が子ども達の体験に基づく発想や意見で面白かった。

1月1日号「八王子駅南口『まちびらき』」

- 1 11月1日「八王子駅南口まちびらき」は永年待ち望まれてきた再開発が実現でき、大変喜ばしいことだ。この間いろいろな人の苦労が実って実現に至ったことと思う。特にサザンスカイタワー八王子は多摩のランドマークとして、八王子の誇りいや市のシンボルとして、市民のみならず近隣の人たちを、八王子に引き付ける効果があるのではないか。また、南と北の商店街の一体化に大きな効果をもたらすと思われる。更には、4月オープンのアリソンホール八王子のオープンは、文化の殿堂として、専門家、プロのみならず、老若男女が寄り添う殿堂となればよいと思う。特に、八王子は学生の街でもあるので、学生の発表の場として使えるようになればさらに活発な街となる可能性を秘めているものと思える。望むらくは、洋楽のみならず、邦楽、大衆音楽のあらゆる分野を盛り込んだ殿堂にしてもらいたい。ますますの八王子の発展を祈念する。
- 2 実際にイベントに参加しようと思い、その記事をよく読んで参加した。
- 3 八王子駅南口が生まれ変わるのを楽しみにしてきた。（ただ、そこへ行くのに公共交通機関を利用して40分程かかるので、まだ訪れていないが）「まちびらき」の特集を見て活気ある明るい雰囲気が伝わってきて、出来るだけ早く行こうという気持ちになった。
- 4 南口「まちびらき」のイベントが掲載されていてよかった。コンサートには行ってみたいと思った。市民会館が移動することによって色々なイベントやコンサートが開催されるようであればその情報も掲載して欲しい。
- 5 南口は長い間工事中だったので、近づかないようにしていたので、広報で知り南口に行ってみた。とても明るくおしゃれな街に生まれ変わりうれしかった。バス停も寂れた感じでいやだったのが便利になった。タイミングのよい記事だった。
- 6 新しいインフラ整備は興味あるので常に計画段階を含めて広報に入れてほしい。（今は近くの浅川橋が何時どのようなルートで出来るのかに興味ある）
- 7 南口の情報が必要だったので。
- 8 新しい八王子の玄関として期待したい。
- 9 私が住んでいる所から市内のどこに行くにしても、八王子駅南口はいつも行く所で、

- そこが開けて、便利に使いやすくなった事は嬉しく、誇らしい気持ちにさせてくれる。
- 10 市長からひと言の欄で南口再開発は実に 30 年以上も前から計画されていたとあり、そのような過去にもふれられていて興味深かった。
 - 11 八王子駅南口の開発と発展がわかり、とてもよかった。この記事を読んで南口に行きたくなりオープンイベントへも出かけた。
 - 12 前々から期待していた駅南口のまち開きはとても興味深く読んだ。わくわくの気持ちを持たせるような記事内容で十分に満足のいくものであった。
 - 13 八王子駅南口「まちびらき」。南口が新しく開発されたことにとっても関心を持っていた。詳しく知りたいと思っていたので貴重な情報源となった。
 - 14 南口情報を総合的に理解できた。
 - 15 期待あふれる南口の様子がわかり益々元気のでる街八王子を感じた。
 - 16 どういう施設がいつからオープンするかとかイベントの案内などを知ることが出来た。
 - 17 南口についてはもっと特集してほしいと思っていたので嬉しかった。

12 月 1 日号「八王子市の消防団」

- 1 幼稚園に勤務をしながら、消防団員として御活躍されている女性の姿は、大変私たち市民にとって元気づけられるトピックだと思った。
- 2 地域の中で大変なボランティアであり女性も頑張っている姿に感動した。
- 3 八王子市の消防団は 12 戸分団 89 部からなり、1,491 名を擁し、都内一を誇るボランティア団体であることを知り、力づく感じた。
- 4 消防団についての仕事が明確であったため。
- 5 消防団の人のご苦労がよくわかった。
- 6 消防団についてあまりよく知らなかったので特集を読んで少し理解できたことがよかった。
- 7 身近な現実的な情報だったので役に立った。
- 9 ものすごく気になっていたことだから。
- 10 写真にインパクトがあったので自然に引き込まれて読めた。
- 11 特に必要なことだったので保存した。それ以前の「特集」はあまり覚えていない。すみません。

問5 「広報はちおうじ」には本編とは別に広報特集号を折り込んでいます。お読みになって役立つ特集号をすべてお答えください。(〇はいくつでも)

(n=83)

	構成比(%)
「男女共同参画情報紙『ぱれっと』」	8.4
「消費生活特集号」	14.5
「はちおうじの教育」	22.9
「八王子学園都市大学いちょう塾平成22年度前期・後期の講座案内」	30.1
「リサイクルタウン八王子」	36.1
「ごみ減量特集号」	65.1
「動物愛護週間特集号」	12.0
「法定インフルエンザ予防接種のお知らせ」	31.3
「特定健康診査・特定保健指導・がん検診特集号」	43.4
無回答	6.0

本編とは別に折り込んでいる広報特集号のうち、役立つ特集号をすべてお答えくださいと聞いたところ、「ごみ減量特集号」が6割台半ば(65.1%)であり、次いで「特定健康診査・特定保健指導・がん検診特集号」が4割強(43.4%)であった。

問6 「広報はちおうじ」には、1日号に「歴史の散歩道」、15日号に「自然うおっちゃんぐ」のコラムを掲載しています。今後どのような分野のコラムを希望しますか。
(○は3つまで)

(n=83)

	構成比(%)
市政の情報	19.3
健康・医療	45.8
自然・環境	33.7
まちづくり	24.1
防犯・防災	19.3
観光・イベント	54.2
まちの話題	36.1
人物	14.5
その他	2.4
無回答	1.2

【その他】

- 1 飲食店や雑貨等のお店の情報。
- 2 良い話題。人や場所。

「広報はちおうじ」に掲載しているコラムについて、今後どのような分野のコラムを希望するか聞いたところ、「観光・イベント」と答えた方が5割半ば(54.2%)であり、次いで「健康・医療」と答えた方が4割台半ば(45.8%)であった。

問7 「広報はちおうじ」の中で、今後どのような記事を充実させていくべきですか。
(○は3つまで)

(n=83)

	構成比(%)
生活に必要な情報	77.1
市の方針や事業計画に関する情報	30.1
市の事業の進捗状況や実施後の報告	31.3
行事や催しの報告	45.8
市民活動に関する情報	19.3
歴史や自然・文化、ゆかりの人物などの紹介	22.9
「まちの話題」などの地域のニュース	26.5
市民参加による記事	16.9
その他	3.6
無回答	1.2

【その他】

- 1 医療費削減に御協力を。
- 2 一般新聞の地方版に載るような記事は、あまり広報で重複しなくても良い気もする。
- 3 運動と健康／大学病院で治らなかった症状が消えた事例を知る。
- 4 市内在住の外国人労働者、留学生による異文化の紹介や、彼らの好きな八王子のスポットなど。

「広報はちおうじ」の中で、今後どのような記事を充実させていくべきか聞いたところ、「生活に必要な情報」と答えた方が8割弱（77.1%）と最も多く、次いで「行事や催しの報告」が4割台半ば（45.8%）であった。

問8 近年、インターネットによる情報収集が急速に進んでいます。「広報はちおう」は紙面に限りがあり、すべての情報を掲載することはできません。これを解決するため、掲載すべき情報を精査する必要があります。あなたにとってホームページによる発信のみで十分と思われる情報はどのようなものですか。

(〇はいくつでも)

(n=83)

	構成比(%)
講座・教室	18.1
イベント	10.8
相談事業	21.7
職員の採用	44.6
事業者を対象とした情報	63.9
市民団体の催し・会員募集	24.1
インターネットが使えない	8.4
その他	7.2
無回答	3.6

【その他】

- 1 インターネットにアクセス出来ない人も居るのでホームページのみで済ませる内容とは思えません。
- 2 相談事業や職員の採用は広報とホームページの両方に載せてほしい。
- 3 現在インターネットが使えないので広報が情報源で頼り。
- 4 ネットは見られる人が限られているので、1～6に関しては紙面のほうが良いと思う。
- 5 どんな情報であれホームページのみというのは、見られない、見れない人にとって不平等に思う。
- 6 高齢者の方など、ネットが苦手な方もいるので、大切な情報は広報に必ずのせてほしい。

ホームページによる発信のみで十分と思われる情報はどのようなものか聞いたところ、「事業者を対象とした情報」と答えた方が6割強(63.9%)であり、「職員の採用」と答えた方が4割台半ば(44.6%)であった。また、インターネットが使えないと答えた方が1割弱(8.4%)であった。

問9 市は、広報「はちおうじ」以外にもさまざまな方法で市政に関する情報をお届けしようと努めています。広報紙以外で今後力を入れるべきだと思う広報媒体をお答えください。
(〇は3つまで)

(n=83)

	構成比(%)
市のホームページ(パソコン版)	68.7
市のホームページ(モバイル版)	21.7
メール配信サービス	24.1
市で作成するポスター、チラシ、パンフレットなど	25.3
町会・自治会の回覧物・掲示物	21.7
ケーブルテレビ番組	10.8
新聞・テレビなどのマスメディアの活用	18.1
地域情報誌、フリーペーパーの活用	34.9
その他	4.8
無回答	0.0

【その他】

- 1 情報を提供するのには大事では有りますが、同じ内容のものを多数の媒体を使って行くのは費用が掛かりすぎる問題もあります。費用対効果を考慮が重要八王子市は広いので、南大沢に住んでいる住民がわざわざ八王子市街まで出向く人は少ないと思われる。
(自分がそうであるから)
内容に価値が無いとどうしても良い話を聞くために、金を掛けるのは得策とも思え無い。
- 2 予算の許す限りで。
- 3 市内で活躍しているボランティア団体を支援すると同時に、これらを母体とする情報の発信源養成
- 4 テレビのデータ放送の活用
- 5 いま掲載されている情報は必要だと思う。

広報誌以外で今後力を入れるべきだと思う広報媒体は何か聞いたところ、「市のホームページ(パソコン版)」と答えた方が7割弱(68.7%)であった。

問 10 「広報はちおうじ」は市内の全ての家庭にシルバー人材センターの配布員が直接お届けしています。10月1日号までは新聞折り込みで配布していましたが、新聞購読世帯の減少を受け「各戸配布」を実施することとしました。新聞折込では17万世帯にしか配布できませんでしたが、各戸配布では市内の全世帯にあたる26万5千世帯に配布できるようになりました。各ご家庭に漏れなく配布することは市の責務であると考えています。各戸配布についてお気づきの点、ご意見・ご要望などをお聞かせください。

(自由記述)

- 1 そんなに新聞購読が少ないことを知って驚きだ。大変良い方法かと思う。
- 2 新聞折り込みではなく、各戸配布は良いことと考える。全世帯に確実に配布されることはとても大切なことと思うからだ。団地などならまとめて配布して、自治会の役員さんに配布を依頼しても良いところもあるのではと思う。(うちは実際団地だが、毎月自治会費の封筒が配布されるので、そのついでに配布しても手間はかわらないので大丈夫なような気がする。それで配布コストが減るのなら、良いことだと思う。)
- 3 新聞を取っていない時期もあるので、大変助かる。私のようにまだ郵便局や事務所へ取りに行ける人はまだしも、外出が難しい一人暮らしのお年寄り等にとっても、嬉しいことでは。
- 4 各戸配布はたいへん良いことであると思う。多くの人に情報を伝えることが大切なので。
- 5 「各戸配布」は大変よいことだと思う。なぜなら、配布される各戸の中には、一人暮らしの方もおり、相互に声をかけあって、生活面等で困っていないか、確認等ができるからだ。また、配布に際し、人材も活用でき、労働者側が、年齢に関係なく、社会とつながっているという実感を持つ、大変重要な取り組みだと思う。
- 6 各戸配布で、読みやすくなった人たちがたくさんいると思うので配る費用や労力は、大変だが、よかったのではないかな。
- 7 広報を各戸に配布する事は、必要だと考えるので、若干の費用がかかっても、今後ともきちんと配布して行くべきだと思う。
- 8 高齢化が進む中で、新聞配達を利用しておらず、かつ、健康上の理由等で外に広報を取りに行くのが難しい方も増えていると想像できる。各戸配布は、幅広く市民の知る権利を保障する上で、とても良い事だと思う。
- 9 多くの市民が広報を手に入れる事が出来ることはとても良いことだと思う。ただ各戸へ配布するには人員をかなり必要とされるように思う。人件費等はどうか？駅改札などにも置いてあるのを見かけるが、必要であれば入手できる方法はたくさんあるかと思うが。
- 10 新聞の折込広告で以前は入手していた。今は各戸への配布となったが、これは平等に情報を届ける意味で良いのではと思った。読める対象者が増えるのも良いことと思う。(新聞を取らない人が居るので)
- 11 幅広い世帯に読まれることは非常によいことだと思う。一方、先日大学生と話した所では必要ないとの声も聞かれており、大学生等に受け入れられる情報誌にする必要

- があるのではないかと思う。
- 12 個別配布になって大変嬉しく思う。それまでは、見る機会が少なく、毎月閲覧できていなかったのがありがたく思っている。
 - 13 きちんとポストに投函されていた。新聞折り込みと遜色なしだった。
 - 14 「各戸配布」を知り、さらにシルバー人材センターを利用していることを知り、理想的な方法とわかった。シルバーの方への支援にもなることから今後も継続してほしい。玄関で配達員と会ったとき自然と「ご苦労さん」と声が出た。
 - 15 シルバーだけでなく地域に根ざそうとしている障害福祉の仕事に加えて欲しい。
 - 16 全世帯に配布が可能であるという点、またシルバー人材センターに登録されている方々にとっても仕事が増えるという点でも良いことだと思う。なんといっても、現役を勇退された方々に、自分たちも、自分たちの住む街づくりに参画していると言う意識を持ってもらえるきっかけになれば良いと思う。「住み良い、明るい未来の街づくりは子供からお年寄りまで全員で」という意識が定着していく一助になると思う。
 - 17 各家配達シルバーさん達の雇用としては良いと思うが、新聞をとっていない家庭は今までどおり駅や市役所などに置く事他コンビニや病院など設置場所を増やせばよいのではないか。特にインターネットが普及している現在ペーパーは時代に逆行しているような。。。パソコンやネットで広報を配信するほうが経費節減になるのではなか。17万から26万5千印刷を増刷する経費と配達員の確保は無駄な事だと思う。
 - 18 シルバー人材センターの方が直接配布とのことだが、費用はどうなっているのか。他に有効な使い道のできる予算であれば使用方法を検討してもらえればと思う。
 - 19 個別配布はきめ細かい対応ができ素晴らしい方法と思う。また、シルバー世代の雇用にもつながるので今後も続けてほしいと思う。
 - 20 新聞折り込みでも各戸配布でも我家では同じだが、約10万部の差があることに驚いた。費用的にはどんな違いなのか。大切な税金なので有効に使って欲しい。2紙購読していると、2部はいていたので、1部の配布だけでよくなっている。
 - 21 非常に良い配布方法と思う。ぜひ継続してほしい。
 - 22 我が家は新聞を購読していないので、配布員の方が配るようになり助かった。
 - 23 各戸配布の仕組みが根付いたら、広報はちおうじ紙上で、シルバー人材センターの人達の地道な活動・活躍について紹介したりして、市民が配達員の事について知る事が出来るようになれば良いと思う。
 - 24 全所帯に配布出来る事は、とてもよい事と考える。ただ、今まで約7割しか配布出来ていなかった事が驚きだ。費用が多く掛かるが、実施される事は歓迎だ。
 - 25 全世帯に配布できること・シルバー人材センターの力を借りることは非常に良いと思う。
 - 26 シルバー人材センターを活用することは非常にいいことである。しかし、その方々が市役所の元職員等を優先して採用しているならば問題である。それでなければ健康のため、市民のためにも役立っていると考える。
 - 27 配布率を高めることと、安定的な人材雇用の確保という意味で意義のある改善と思う。
 - 28 各戸配布だと、確実に手に渡るので、今後も続けてほしいと思う。
 - 29 全世帯に配布出来る事は素晴らしいと思う。唯、各戸配布は手間や人権コスト等新聞

- 折込より大変なのでは？新聞をとっている家庭は折込、とっていない家庭は任意配布（申請等）はどうかのだろうか？
- 30 前述したので省略するがシルバーにも働く機会を増やす試みは大賛成若者への定職作りには大いに力を入れてやってほしい。
- 31 各戸配布はいいと思う。2部お願いをしたい時はどうするのか。
- 32 以前、アパートに住んでいたときは、地域の自治会から入会のお誘いがなく、市の広報が頼りだったので、各戸配布はとてもいいことだと思う。
- 33 新聞を取っていない世帯も読めるようになってよかったと思う。
- 34 各戸配布はいいと思う。
- 35 シルバー人材センターの方が配布されるのはいいことだと思っているが、全戸を回るので、これだということは明確には言えないが、国勢調査とは言わないが、「市の調査」「市への意見聴取」などの実施にも役立てられたら如何だろうか。
- 36 各戸配布で便利になった。
- 37 今迄の新聞折込でやる方法の費用と、各戸配布でやる費用ではどのような違いがあるのか、それを知りたい。漏れなく配布するのが市の責務との考えであれば、費用が掛かっても各戸配布が望ましいと思うし、新聞折込より少なくして済めばそれに越した事はない。
- 38 各戸配付が良いと思う。
- 39 良いことだと思う。がんばってもらいたい。
- 40 各戸配布は大変有難い。このまま続行して欲しい。
- 41 駅などに置いてある広報はゴミになっているのを見かける。戸別配布にしても結局はゴミになると思う。無駄であり環境汚染を引き起こしている。期限を決めて配布し配布の賛否を問い合わせしたらどうだろうか。なかには配布されても困っている人がいるのではないだろうか。あるいは月にするとか。
- 42 新たな体制でコストがどう変わったのか分からないが、これまでの新聞複数紙購読者へのムダ配布などを防止し、全戸配布が実現したことはおおいに評価できる。シルバー人材センターの配布員の方々の生きがいにもつながるものと思う。なお、できればという要望だが、高齢化社会の進展に伴う「孤独死」などの問題が指摘されているが、月2回とはいえ、各家庭の「見守り」ができるわけなので、市や地域の民生委員など関係者との連携が取れるような一つのシステムが確立できればより良いのではと考えている。
- 43 各家庭に配布するのは良いが、不要という人はいないのか？
- 44 シルバー人材センターの方が届けてくれているのですね。夏の暑い日や冬の寒い日にも配っている事を思うととても有難いです。今までよりもっとちゃんと読もうと思った。
- 45 各戸配布はとても良いとおもう。身近な所に置かれ取りに行く事ができても、つい忘れてしまう事も多いと思うので。配達員の方が初めて配布に来た時、普段ポストに入るチラシ等の配布と違ってしまい、あえて声（お礼）（あいさつ）もかけなかったので“八王子市”の仕事であることがはっきりわかるようにした方がもらう側も配達員の方とまた広報自体にも意識関心が向くのではないか。

- 46 回覧板で各戸配布すれば人件費が最小限ですむと思うのだがどうだろうか？
- 47 新聞は購読していたが、個別配達にしてもらい読みのがしが無くなってとても有難い。配達してくれる方、坂道が多いのにありがとうございます。
- 48 全世帯に配布できるのは良いことだと思う。
- 49 個別配布は大変なことだと思うが、とても意義があることだと思う。ただ、人件費等を考えると町会なので分担して回覧板を使用しても良いのではと思う。
- 50 配布する日が何日かあるわけで、最終日の人も何かの応募の時、平等になるようにメ切日などを決めたらよいと思う。シルバー人材センターの配布員がポストに入れる日が雨の場合、濡れている時があったので気をつけてほしい。
- 51 新聞折込配布から各戸配布に変えたのは、今変えたのは遅かったと思う。約9万世帯に配布していなかった。現在に見るハイテク、インターネット等を見ても5年は遅かったし残念。スーパー等は3年位前から一部だがチラシを新聞に入れていない。
- 52 駅や図書館等の公共施設で以前はもらっていたが、各戸配布になりとても便利で助かっている。
- 53 確実に目に入るので、広報はちおうじを見ることが出来て非常に安心で嬉しい事と思う。
- 54 各戸配布、大賛成。今まで新聞の中に入れて頂いていたが、近くに住む息子宅では子ども3人いるが、新聞をお願いしていなかったので我が家の「広報はちおうじ」を届けるか市役所で頂いていた！
- 55 シルバー人材センターの配布員が各世帯へ配布するよう変わったが、20年前ぐらいは各町会で配布していたような気がする。色々問題があり、今の配布員により各戸配布となったと思うが地域の人達のコミュニティ、一人住まいの安否等を考え、再度地域の町会で配布を検討してもいいのではないだろうか。
- 56 新聞を購読していない世帯まで配布ができ、市としては多くの方に見てもらえて良かったように思われるが、今までも必要な方は駅コーナーなどに置かれている広報を取りに来て見ている方も多く、シルバー人材センターといっても人件費がかかるのではと思う。シルバーの方々は、仕事があり足の運動にもなり、お小遣いも入るのでうれしい事だと思う。
- 57 雨に濡れたのか表紙がシワシワの広報が入っていた時があった。配布は大変だと思うがシワシワの広報を手にした時はなんだかびっくりした気持ちになったのでもう少し気を配ってほしいと思う。
- 58 とても助かっている。ありがとうございます。発行部数(印刷費用)も増えたのか？独り暮らしの学生のポストにも届けているのか？
- 59 各戸配布はすばらしいことであるが経費もかかっているのでは！現在、各町内会が充実しており、組織化も進んでいることと思う。“ボランティアに近い型”で各町内会に配布をまかせてはどうだろう。
- 60 全世帯配布は、市の責務と思えよかったと思う。配り漏れ忘れがないようにしてほしい。
- 61 小学生の子どもがいるので「広報はちおうじ」の予防接種のお知らせの欄はとても重要な情報。このように「広報はちおうじ」は八王子市に住む人たちに貴重な情報が満

- 載なので全世帯に配布することは当たり前のことだと思う。
- 62 シルバー人材センターの雇用確保に貢献するのは結構なこと。(それ以前に新聞購読世帯が減少していることは「広報」の情報も不要なのか?)
- 63 読まずに廃棄する家庭もあると思う。また、市のHPでも読むことが出来る。必要のない家庭には配布せず予算削減につなげるべきと考える。
- 64 八王子には学校が多く、それに伴って一人暮らしの学生が多いと思う。学生の一人暮らしは新聞の購読をしている人は少ないと思う。市内在住の家に各戸配布しても費用対効果から見てはたしてメリットはあるのかと考えてしまう。今までも銀行、郵便局、駅等で自由に置いてあったので購読できた。
- 65 新聞を購読していても留守中で一時中断するともう手元に届かない。費用もかかると思うが各戸配布は大いによい。広報誌以外の情報も一緒に配布されるとよい。
- 66 休日の病院の情報が知りたくて以前はわざわざ駅まで取りに行っていた。配っていただいて本当にありがたい。
- 67 約10万人の方にも広報が入るようになり、八王子が大きく発展する傾向にある事を感じる。八王子を知ることによって市民でつくる八王子が大きく前進すると思う。
- 68 11月でしたか、雨の降った日、郵便受から「広報はちおうじ」を取り出したところ“びしょびしょ”に濡れていて紙面をめくることが出来ない状態で読むことが出来なかった。数日後、北野事務所に行って貰った。広報紙は新聞と違って一日を競うものではないので翌日晴れるのを待って配ってほしい。雨が降っていても配るというのだったら新聞のようにビニール袋に入れて下さい。これでは費用も時間もかかること。また、配る人も雨の中を大変なことだと思う。御一考を願う。
- 69 以前から各戸配布を望んでいたのが良かった。助かる。
- 70 新聞折込みでないとは初めて知った。シルバーの方にも頑張ってもらいたい。雨の日はどうしているのか心配。(カバーはつけるのか?とか…)
- 71 大変良いことだと思う。最近の若い方は新聞をとらず、情報はパソコンやテレビからという方が増えている。しかし、市からの情報は必要なもので助かると思う。(特に乳幼児を育てている方は)
- 72 新聞折込で17万世帯は疑問。わが家では2紙とっているから2冊入ってくる。各戸配布が正しいと思う。特にシルバーを使ってが良い。
- 73 シルバー人材活用の各戸配布は画期的なこと。費用面の増加はどの程度か承知していないが世帯数で40%増えることによって市の動静がより広く伝わるので是非継続してほしい。
- 74 ポストに入っている広報が破れていたり折れ曲がっていたりする。読む人の立場にたって責任ある配布をして下さい。
- 75 うちでは新聞をとっていないので毎回「広報はちおうじ」をコンビニや出張所で入手するかパソコンで情報を調べるしかなく面倒だった。小さな子どももおりパソコンを見る時間もなかなかとれず読まずに終わることも多くて必要な情報も逃がすこともあったので、今回各戸配布となりとても助かっている。同じ市民税を払っているのに情報を得られないことによって受けることが出来るサービスに差が出るのはおかしいと思うので配布サービスは良い試みだと思う。

問11 「広報はちおうじ」についてお考えやご意見・ご要望などをご記入ください。

(300字以内)

- 1 定年退職と同時に、長い単身赴任から解放され自宅へ戻った時、地域の唯一の情報資源と言って良いほど重宝した。今でもあらゆる紙面を隅々まで読み大変重宝している。特に高齢社会になっていくと、外に出られない、出るのが億劫になるかと思われるので大変異変貴重な情報資源と考える。是非、これからも続けてほしいと思う。
- 2 二色刷りなのはコスト面から考えても妥当だと思う。冊子のボリュームも読み切れる感じで今のままで良いと思う。広報はちおうじで紹介された情報の更なる詳しい情報を知りたい場合のHPのアドレスなどがもっと多くの記事に掲載されると便利だと思う。
- 3 ①紙面にお金をあまり割かないで欲しい。年始だけカラーだったが、無駄だと思った。二色刷りで十分。②広報で一番役に立つのは「休日当番医」。③八王子まつりの特集号があったが、こんな不況でそんなお金をかけるべきものだろうか？と疑問だった。今回、特集を読み返すため、手元にすでになかった1/1号から11/1まではHPで確認しなければならなかったため、回答がギリギリになってしまった。
- 4 いろいろな面で工夫努力をされて良い広報にしようとしていることが良くわかる。更に良い広報になるように頑張してほしい。難しい言葉、法律等をできるだけ市民が理解できるように、更に、簡潔で丁寧にわかりやすく、写真、図解、漫画等を駆使してもらいたい。市民に密着した情報、たとえば、〇〇学校が〇〇全国大会で優勝したよ。〇〇さんが〇〇賞をもらったよ、とかの話題を載せるのも良いだろう。(ただし、個人情報の問題とか難しい問題があるが)市の保養寮とか廃校になった学校とかの、情報を多くの市民に知らしめて、有効活用を図ることも大切と思える。市民の集いの広場であり、情報の収集の場であったり、ほっとする場であったり、そのような広報が望ましいと思う。頑張ってください。
- 5 いままで、紙媒体一色で配布をされてきた「広報はちおうじ」だが、若年者を中心にインターネットを中心に思量する生活形態に切り替わっていることも踏まえ、希望者のみ紙媒体で配布をし、他の方は、八王子市のホームページから閲覧をしてもらう方針に変えてもらうと、経費の削減につながるのではないだろうか。
- 6 私は、毎回、大切な情報源として、配られた日にくまなく読んでいる。わざわざ、ホームページを開いて、情報を収集しようとは、なかなか思えないので、紙面として配ってもらい、とても助かる。これからも楽しみにしている。
- 7 広報の大きさやページ数も丁度良く、読みやすく、ほぼ満足している。(個人的には、縦書き・横書きが混在しているのが少し気になるのだが、紙面の制約上の理由からかと感じている。)長く安心して暮らせるよう、どのような政策を実施するのかを、これからも積極的に伝えてもらえればと思う。また、八王子市は歴史的遺産や自然が豊富だという事は市民の誇りでもあるので、そうした分野のコラムの更なる充実も期待している。また、市周辺で流行っている感染症や、これからの季節気になる花粉症に関する情報などを載せてもらえると助かる。昨年新型インフルエンザの特集は心

- 強かった。
- 8 実際、興味ある記事しか読んでいない。（しかもざっくりとしか目を通していない）当方は子供も年配者もいないので児童に関する記事や福祉や介護に関する記事、また医療においても市で行う健康診断の記事も必要としていないので（勤務先で受診できるため市での補助がないので）殆ど興味が無い内容となる。しかしいろいろな家庭、事情をみな持っているので幅広い内容で、今のままで十分だと思う。
 - 9 参考になるし役に立つ記事もある。継続して発行してください。
 - 10 市長メッセージを毎号載せてはどうかと思う。日頃、市長との距離を感じている市民も少なくない筈なので、市政改革に向けて市長メッセージを流してみても如何か。
 - 11 いつも楽しみにみている。HPも良いが、紙面はやはり市の様子が分かってうれしい。
 - 12 高齢化・人口減少・税収不足等により行政のあり方が急速に変化している。八王子市も今後急速に変化している。行政の変化について広報を通じて市民にわかりやすく伝えてください。
 - 13 高齢者の暮らしに関する情報、講座の情報、施設（スポーツ施設等）の情報などをより多くしてもらえればと思う。
 - 14 市役所や行政は、補助金は出すが後のことはサポートしないというのが常識みたいなところがあり、既存のシルバーのようなところは温存と言う感じを受ける。広報の配布も新規で福祉作業所の仕事として地域に根差す援助をしてほしいと考える。
 - 15 「八王子広報」は①市政の方向を明らかにする。②直近の生活に必要な情報提供。③催し物の情報提供により、市民の生活活動の中心を市内に定着させる。④八王子市は古い歴史を持つ反面、東京のベットタウンとして拡大して来た経緯があり、八王子に住みながら、地域になじみが薄い人が多いので、八王子の姿を紹介し理解を深める。⑤市民活動の情報の発信源とする。⑥老若男女、全てにとって読み易く便利である。など多機能を要求され、この全てを満足させるには無理が生じる。そこで今後、広報をホームページで言う「トップページ」の役割と位置づけて情報ネットワークの構築が必要だ。
 - 16 広報＝堅苦しいというイメージからあまり目を通していない人も多々いるのでは。。小さいお子さんがいる家庭は見なくてはならない重要な記事が多いと思うが、もっと見やすく分かりやすい紙面宜しく願いたい。インターネット広報の普及も考えてもらえたらと思う。
 - 17 各世帯に配布し、もっとたくさんの市民に読んで欲しいというのであればどうしたら読んでもらえるかを工夫してもらえればと思う。今後八王子南口のまちびらきをきっかけにもっと八王子の町が盛り上がっていくと思う。高齢者と若い世代の交流ができるイベント、市民会館のイベント等を盛りだくさんに企画して告知してもらえれば幸い。
 - 18 広報は、地元の情報が盛りだくさんでいつも楽しく読んでいる。全ての市民がインターネットを使えるわけではないので、これからもずっと続けていってほしいと思う。しかし、一報で各種イベントや教室の申し込みなど、そろそろネット化したほうがよいのでは？と思う面もある。まんべんなく全ての市民に紙で提供すべきもの、インターネットで便利と簡素化を追求した方がよいもの、それぞれ精査して対応していく変

- 化も必要だと感じる。
- 19 配布物は必ず見るので、楽しみにしている部分もある。今の所、字の大きさも適当。字が小さくなると読まないようになる。家族の中では勤めで忙しく、読まない者もいる。どんなに忙しくてもパソコンのチェックは怠らないようなので、若者も読むような広報になればと思う。
 - 20 月2回のほうは非常に労力と費用がかかると思うが是非継続して欲しい。われわれ高齢者の関心事である健康・医療常報を今以上にふやしてほしい。また、最近車の運転をしていて、気なることは自転車運転の危険性である。時折自転車の交通ルールが分からなくなる。たとえば、自転車は右側通行？と本気で思ったりする。ぜひ、自転車の安全運転の啓蒙特集をしてもらいたい。
 - 21 回を追うごとにより情報を伝えやすくということを検討し、改善を加えていてもらいたいと思う。
 - 22 もう少し市民に、広報はちおうじの事を知ってもらう為に、広報はちおうじが出来るまでの過程（工程）を紹介して貰いたいと思う。
 - 23 月2回の発行は良いと思う。月1回では、日経ちすぎて冊子を紛失してしまいそうなので。情報ファイルの子育て・教育欄や、生活についての連絡は非常に役に立っているし、催しの情報を見て足を運ぶこともある。とにかく、八王子の情報といえばこの広報から・・・という状況。今のところ何の不便も感じていない。
 - 24 今も活用しているのかもしれないが、より市民自身が参加する「参加型メディア」であってほしい。具体的には、市の職員によるものでなく、老若男女の編集希望者を募り、1年単位で「コーナー」を設け、住民コミュニティの一助となればと思う。また、2色刷りのため地味なため、コストアップがどの程度か不明だが、年に一度くらいはカラー版にして、「広報はちおうじ」ここにあり、をアピールして定期購読をうながしてほしい。
 - 25 イベント情報などを充実させてほしい。若い方にも興味をもってもらえるような内容にしてもらいたい。
 - 26 家庭の中にいる主婦にとって広報は唯一、市の情報源なので有難いと思っているし、情報ファイルやひろば、催し等大変便利に利用し楽しんでいる。唯、時折、場所が分からずネットで調べたり、断念したりする。インターネットに頼れない時もあるので会館等の所在地の一覧表等織り込んでもらえる则有難い。
 - 27 いつも楽しみに読んでいます。これからもっと観光や、市民が推薦する散歩道などを紹介してほしい。
 - 28 あくまで広報なので、市政にかかわる情報提供以外にものすごく力を入れる必要はあまり感じない。また、インターネットのみの配信は、生活への介入力が薄れるので、どうしても紙媒体は必要だと思う。
 - 29 他の市と比べても見やすいと思う。
 - 30 大きさが小さいと思う。小さいために情報量が少なくなるので、A2サイズぐらいでいいのでは。各戸配布になったのもっと大きくてもいいと思う。
 - 31 問7. の今後充実してほしい記事について、希望を言いたい。市議会および市役所各部署の「現状と課題」、「都市計画」それに係る取組状況を1年間みっちりの特集し

- てもらいたい。それは、市の行政への喚起、市職員への感謝の念に、強いては、自分と行政との係わりについて、真剣に考える機会を得られると思う。
- 32 なんとなく堅苦しいし、古臭い感じだ。もう少し楽しそうな紙面にしていただけるといいかと。
- 33 問3と重複するが、もっと柔らかく、分かりやすく、楽しいものにしてもらいたい。
- 34 皆が待っていて読む広報誌になるのが理想だと思う。「歴史散歩道」のような、肩がこらない読み物も良いし、又広い市内の各所にある、隠れた名所探しの旅案内のガイドを載せるのも良いかと思う。私はシルバーパスを利用して都内の小旅行ガイドを作りたいと、都内各所を歩き廻ったが、未だ実現には至っていない。その八王子版などは如何か。
- 35 市の動きが良く分かるので、注意して目を通すようにしている。
- 36 もっといろいろ活用して、八王子市のPRになればと思う。楽しみに読んでいる。
- 37 ネットは便利に情報収集出来るが、忙しいとPCをじっくり使う余裕もないので、広報の各戸配布のような情報発信も市として継続して欲しい。
- 38 年間計画で1月には何を掲載するとかあればイベントの見落としをしなくて済むのではないかと思うがいかがだろうか。
- 39 ①月2回の定期発行、随時のテーマ別の臨時発行という規模。②基本としてのA4判16ページという情報量、2色刷り、そして文字も大きめで見やすく保存もしやすいこと。③配布方法の改善による全戸配布が実現したことなど十分広報機能を果たしていると思う。日頃の関係職員の皆様のご尽力に敬意を表し、今後ともよろしくお願ひしたいと思う。
- 40 どの位の予算が使われているのか。使われている写真がもう少しコンパクトでもいい様な気がする。一面に写真が使ってあったりするが半分で充分。もっとシンプルで良い。
- 41 新聞もそうだが、インターネットの普及により、必要な情報を紙面から受け取ることが少なくなった。これから益々少なくなると思うので、その中でも必要とされていく紙面作りをお願いしたい。
- 42 情報ファイルのページは文字が多く読み落としてしまいがちになってしまう。一つ一つの事項の間を一行空けて欲しい。子育て・教育他毎月必ずある事とその月にしかないものをマーク・色等で分けてもらえると見逃さずに読めるかと思う。休日診療の地図をもう少し詳しくして、駐車場も目印があると非常に助かる。所在地の●の両隣の建物の名前があるとわかりやすい。目次が目立たず、主な内容として取り上げているのに、実際は他のものと同じ欄の使い方と残念。私の場合、読まずに次へ進んでしまっていた。広報の記事の見やすさで市民の生活の意識関心も変わってくると思うので必要な人が読むだけでなく、みんなが広報に目を向けてくれたらと思う。
- 43 八王子市はとても広いので、イベント等の情報が八王子駅等の中心部に集中して行きにくく、ほとんど参考に出来ない。八王子の東部・西部等の地域別のイベントや生活の情報を載せてくれるととても参考になる。
- 44 広報はちおうじは必ず読む。特に子ども科学館のプラネタリウムの情報や市民講座は

- 必ずチェックして参加している。また、ボランティアの募集も載せて欲しいと思っている。例えば、絵本の読み聞かせなど。
- 45 「広報はちおうじ」は個人的には見やすく、毎回必ず目を通して。各戸配布になってから少し早めにポストに入れてくれる事もあり、シルバーさんに頭がさがる。
- 46 毎号楽しみにしている。八王子生まれということもあり、なかなか捨てられず何年分もファイルしてある。先月2008年の広報が出てきたので見ると南口の開発ビルの予想図が載っていた。実際とはちょっと違った所もあり懐かしく読み直した。以前に比べるとこの頃はとても読みやすくなっていると思う。私は子どもが中高生の時広報委員をやっていて、市の広報の方に指導してもらったことがある。さらっと読み捨ててしまう方もいるかもしれないが“この1ページ”を作るのにとっても大変な苦労があると思う。ホームページの時代だが地の人は高齢者も多く読まれているので是非読みよい誌面をこれからもお願いします。
- 47 「広報はちおうじ」に載っているので御要望の前に一言。例えばし尿処理手数料が現在老人家族二人として900円が改正後は4,000円。約4倍である。汚泥処理が現在無料が4,000円である。そして下水道の接続をするようにと言っている。老人家族で4倍は大変だと思う。又、話は違うが地デジも同じである。来年7月までといっても老人で国民年金だと大変だと思う。要保護等は別が大変だと思う。
- 48 私は以前は日野市に住んでいて、勤務先は国立市なので両方の広報をよく読んでいたが、八王子市の広報は内容が充実していて読み物のように楽しく見ることができる。これからも、八王子市に住んで良かったと思える情報、医療、学校、福祉、イベント等の盛り沢山の内容で作成してもらいたい。
- 49 広報はちおうじは各戸配布になって良かったと思う。今までだと広告をそのまま読まずに処分していた時もあったのでその間に広報が入っていると気づかずに処分してしまっていた。だから戸別にポストに入っていると間違いなく目に入るのとても安心である。広報はちおうじはいろいろな情報が満載で、きめ細かく通達されているのでいつもくまなくすみずみまで読んでいます。現状のまま今後とも末永く続けてほしいと思う。
- 50 会社で仕事上、パソコンは使用しているが、自宅では、時間もとれない事もあり、主人がほとんどパソコン使っている。そんな中、広報は1つの楽しみで、家で読めない時は、会社の昼休みに、市長メッセージから最後のページまで読んでいます。広報室の八王子に対する思いが強く感じられ、私も、八王子の一員だと思える心あたたかな気持ちになれる。大好きな八王子、八王子に住んで本当によかったと思っている。最近、城跡も時間を作り、ボランティアの方達と見学に参加している。
- 51 八王子市民全員が満足する、広報誌を作ることは無理だと思う。自分自身も子どもが小さい時は、予防接種の予定とか、保育園の募集を待っていた事を思い出す。現在は年をとり、健康や病気の予防の講演会などの記事に特に興味があるように、市民全員が納得する広報を作るのは無理だと思うが、職員1人を募集するとか、検討委員1人の募集をする為に、紙面の多くを使用するのはどうかと思うのと、一部の人の圧力で紙面に掲載しないように願います。今回のアンケートは22年の広報誌の内容についての項目が多く、私の様な年寄りには1年を振り返って思い出すのは無理でした。

市政モニターの調査員は広報を見て応募したので、よく広報をみていると思われるが市民全体では広報をどの程度活用しているのだろうか？

- 52 八王子市のイベント情報→例えば農家の収穫祭などの前年の様子（写真付き）を記載し、今年は具体的に何がいくらぐらいとか？主な品物の具体的な価格を提供し、数件の農家の収穫情報などを記載してもらえると助かる。以前、近くの農家でズイキを分けてもらい、食べ方を教えてもらい調理したところ、とても美味しく食べることができた。この様にスーパーでは発売していない農作物をアピールし、八王子ならではのものを、もっともっと多く知ってもらえば活性化にもつながり、農家との交流もでき、良いと思う。
- 53 特集を組むのも良いとは思いますが、もっと市内で行われているイベントや子育ての集い、お店の情報など生活に密着した情報を多く載せてもらいたいと思う。特に催しに関しては、小学生以上のものが多く、乳幼児向けのものはあまり記載されていない。これでは乳幼児を持つ親はあまり広報を読む気がなくなるので…。また、現在は右開きだが、読みにくいので左開きにしたほうが良いと思う。そうすると横書きの部分が読みやすくなるのではないかと？そして最後に、写真をたくさん載せるより、文字（情報）をたくさん載せてもらいたい。市が広い割りに情報が少なすぎるので。
- 54 私の家では新聞をとらないので、今まで広報を見る機会は少なかったが、やっと自宅に届くようになり嬉しい。とりあえず一通り目を通すと、今は必要のない情報でも、いつかきっと役に立つものがたくさん載っている。そういう時には、ネットを利用し、記事を探すことで簡単に情報を入手できる。1日号と15日号で特集を変えているという工夫は気付かなかった。八王子にゆかりのある有名人は、たくさんいるので、特集を組んで欲しい。馴染みのある場所やお店を紹介し、たくさんの方が行くようになれば市全体が活性化していく気がする。
- 55 人口55万人以上となり、数字上は大都市であるが、実感として八王子市のイメージ、特色を表すのが難しい。諸施策を展開していることは判るが、八王子市政に対して市民が本当に訴えたいことは何か、幅広い層から直接、生の声・意見を取ることも又検討に値すると思える。
- 56 広報はちおうじは、市民として真剣にすみずみ読む。世間はネットが広がっているが、中には苦手な人もいて、大切な情報は広報に必ずのせてほしいと思う。広報で印象に残っている情報はあまりなく、その理由をはっきりしないが、少し残念に思う。八王子市に住んでいてよかったと思えるような、特色ある内容のものもあるとよいと思う。保育所、学童保育所の様子なども写真入りであると楽しい。
- 57 最近新聞をとる家庭も少なくなり、地域密着の情報誌としてとても重要だと思う。特に高齢化社会に向かって、自宅で八王子の地域住民としての意識がもてるようだとい。近くの公民館での催し物も気軽に参加できるような、例えばおしゃべり談話会でもいいのではないだろうか。
- 58 八王子市に住む人たちにとって広報はちおうじは、重要なことが沢山のついでに私自身、毎回必ず目を通して読んでいる。広報はちおうじの重要性をもっとアピールしてもよいのではないかと思う。

- 59 毎回楽しみに読んでいる。問10に関連するが、配布のご苦勞を軽減し、かつコストの削減に繋がることを目的とし、広報のネット配信を検討してもよい時期かと思う。事前の確認作業や配信を希望しない家庭の対応等の問題も残るが・・・
- 60 似たりよったりの「広報」ではなく、八王子ならではのユニークな情報発信誌になるように、市民の意見を聞いて欲しい。
- 61 市のHPでバックナンバーが読めるのは良いと思う。読みたい記事や、団体、催しなどをキーワード検索できるようになれば更に良いものになると考える。
- 62 私は「広報はちおうじ」を入手してから1年間は、ファイルにして保存している。繰り返して前年の号を読み返して見ると、毎年、少しずつ行政の対応が変わっている。例えば、講座、イベントについて言えば、市が主催して行う行事が年々増えている。これらの事業の経費も、ばかにならない額だと思う。私は、いろいろな行事、イベントは各NPO等が主催し、市はそれらに助成金を出して行事を行ってもらったらいかがかと思う。最初から最後まで、市が主催したら、経費・人員も多くなる。NPO等を効率よく運営していくことこそ、これからの市政には大切なことだと思う。
- 63 少ないページ数で、多くの情報を分かり易く市民に知らせる、これを担う広報誌は八王子市の顔だと思っている。2～3の他の市と比べるととても工夫されているように思える。但し縦行、横行の記事は私にはとても読みづらい。どちらかに統一されては如何か？又、都水道局の広報誌には可愛い“水滴くん”のキャラクターが載っていて親しみ易い。堅さをとるのも皆に読んでもらえるきっかけになるかもしれない。
- 64 八王子の市職員の皆様の努力により、広報ひとつみても、前向きによりよきものを市民に提供しようとする、もてなしの心を感じる。その心が、自分のできる事から地域に貢献しようという心が育つ。八王子の事をまだまだ知らない私にとっては生活するのに必要な情報をさらに多くして欲しいと思う。買い物、医療関係、道の駅、南口等、新しい情報、お得な情報はだれもがくいつくと思う。行政については女性にわかりやすいように工夫をし、文面もことばの意味を書いて欲しい。政治に関して知識がないので、その辺がわかると政治も面白くなり、政治参加も多くなると思う。
- 65 正直、ちゃんと読んでいない（必要そうなところだけを読んでいる）ので、意見を言うのもおこがましいのだが…。八王子市は広いので、4分割ぐらいにしてその地域に特化した誌面を作るとかもいいかと思う。
- 66 広報がとても必要、と思えるのは、病院等の休日情報。（それにしても休日診療できるところがいつも少ない）そして広報を楽しく見れるのが、これから行われる、自分達も参加できる催し物。時折、終わってしまっても結果報告だけ拝見すると残念な気持ちに。また、コストがどの位変わるのかわからないが、2色刷りより多色刷りの方が断然良い。
- 67 月に2回の広報はちおうじを楽しみにしている。特に情報ファイルの講座・教室では語学やパソコン講座に通った。催しも毎回、気を付けて見ている。以前、寄席があるのを東急スクエア場で偶然見つけて当日聞いてきた。今でもやっているのならば情報ファイルで知らせて欲しい。ただ当日券を買うのに住所と名前を書いて購入したのは疑問だった。（広報とは直接関係ないが。）これからも、イベントをいっぱい増やして、気楽に参加できるようお願いします。いちようホールは遠いので出来れば駅近く

での開設をお願いします。（人数にもよるだろうが。）

- 68 一面（表紙）に市長のメッセージが載っているが、特に宣伝（個人の実績）するような、自己満足的な言葉がある。二面以降にすべき。
- 69 毎月当たり前の様に「広報はちおうじ」を読んでいるが、今回改めてその必要性を感じた。掲載する記事、内容を集めるには大変な気配りがあると思う。昨今の世の中の環境の変化、多岐にわたる出来事等昔ならば相当数の市民が同一方向を向いていたのでやり易かったと思うが、最近は権利主張をする市民が増えているだけに市政の方針、出来るだけ多くの情報を提供しておくことはますます重要となり欠かせないものになると思う。出来るだけ多くの情報提供の広報はちおうじをお願いします。
- 70 もっと若い世代からの意見を取り入れ、若い世代向け、お年より向け、事業所向けなど、細かく記事を分けて載せて欲しい。

「げんきフォーラム」について

市は毎年、市政に関わる様々なテーマについて、市長ほか3名のパネリストによる公開討論をとおり、市民の皆さんとともに考える「げんきフォーラム」を開催しています。

今回のテーマは『**自然と共生したまちづくり～「循環型都市八王子」その実現に向けて～**』。先人が大切に守ってきた尊い自然環境は市民共有の財産です。次代を担う子どもたちに現在を継承するとともに、緑豊かな地域環境を創出し、都市と身近な自然との共生に努めることが私たちに課せられた重大な責務と考えます。単に自然環境の保全やめざすべき都市像を追求するのではなく、八王子が自然と共生したまちに成長していくために、これからの都市環境のあり方、市民、業者、行政の役割などについて考えていただくきっかけとして、関係者により語っていただきます。なお当日は、ご来場の皆さんとの意見交換も予定していますので、ぜひご参加ください。

【コーディネーター】

小泉 明氏 こいずみ あきら（首都大学東京大学院教授）

上水道、下水道、都市廃棄物計画に関するシステムズアナリシスを研究。

現在、八王子市環境審議会の会長を努めており、八王子市廃プラスチック中間処理施設調査研究協議会では会長として計画立案に関わった。さらに、廃棄物資源循環学会評議員、水道技術研究センター評議員をはじめ、東京都廃棄物審議会部会長などを歴任。

首都大学東京都市科学連携機構の機構長としても活躍。

【パネリスト】

大島 紀代氏 おおしま きよ（八王子市ごみゼロ社会推進協議会委員）

“ごみリサイクルの会”として地域の住民が積極的に行おうと、平成元年に行政が行っていなかった缶・ビン・ペットボトルをカゴを出して回収を始めた。12年、市の分別回収が開始になり活動終了。ごみから、水、緑地保全へと関心が広がり、地域の休耕田を復興させ、小学校とともに田んぼで米作りや餅つき、川遊びなどで活動中。

依田 和子氏 よだ かずこ（八王子市環境学習リーダー3期生）

第3期八王子市環境学習リーダー養成講座終了後、中央地区環境市民会議に入会。

『ごみ・資源・エネルギー部会』に所属。平成18年度から「エコひろば」のごみ分別講座のお手伝いをしたり、部会の省エネ講座を手伝いながら、地域の方々との対話を通して活動をしている。

藤原 幸男氏 ふじわら ゆきお（公募市民）

平成22年4月から“八王子に清流を取り戻す市民の会”に入会、活動に参加。同年9月から第6期八王子市環境学習リーダー養成講座を受講し、その後、八王子市環境学習室「エコひろば」の環境教育支援に参加。また、西南部地区環境市民会議に入会し、主に『自然部会』において活動している。同年10月からは“池の沢に蛍を増やす会”に入会し里山の自然を守る活動に参加している。

黒須 隆一 くろす りゅういち（八王子市長）

八王子市議会議員3期、東京都議会議員2期、2000年（平成12年）より現職（3期目）。市民の視点で夢のある街づくりを進め、都市経営の視点から「八王子元気計画」を掲げ、あらゆる改革に取り組んでいる。現在、市民との協働によるまちづくりの推進など、魅力あるまちづくりに向け邁進中である。